

シーティングマニュアル

000690790.02

SEDEOプロ

取り扱い説明書

車椅子の部品

SUNRISE MEDICALはISO-13485認証を取得しており、研究開発から生産に至るすべての段階における品質の確かさを裏付けています。この製品は、EUガイドラインの要件を満たしています。オプションやアクセサリは、別料金にて販売しております。

ご利用のシーティングシステムの使用方法、メンテナンス、安全に関するご質問があれば、お住いの地域のSunrise Medical販売代理店にお問い合わせください。お住いの地域の販売代理店がわからない場合や、このほかのご質問については、下記に書面またはお電話でお問い合わせください。

サンライズメディカルジャパン株式会社

〒349-1145

埼玉県加須市間口456番地1

order@sunrisemedical.jp

TEL:0480-31-6480

www.SunriseMedical.co.uk

販売店の署名と印鑑

1.0 利用者の皆様へ	5	6.0 手動および電動シートオプション	31
1.1 この取り扱い説明書について	5	6.1 手動シートオプション	31
1.2 お問い合わせ	5	6.2 (電動)シーティングオプション	32
1.3 このマニュアルで使用する記号	5	7.0 輸送時のシーティングシステムの小型化	33
2.0 安全のために	6	7.1 シートクッション	33
2.1 この製品で使用されている記号とラベル	6	7.2 バッククッションを外す (図7.3)	33
2.2 安全のために:温度	6	7.3 バックレストのクイックリリースを引き倒す“ 図7.4)	34
2.3 安全のために:可動部品	6	7.4 リクライニングアームレスト付きのバックレ ストを折りたたむ (図7.5)	34
2.4 安全のために:窒息の危険	6	7.5 リクライニングアームレスト付きのリクライニ ングバックレストを折りたたむ (図7.6)	34
2.5 安全のために:トレイ	7	7.6 スイングアウェイ・レッグレスト (図7.7)	35
3.0 概要	7	7.7 着脱可能な単一支柱式アームレスト	35
4.0 シーティングシステムの設定	8	8.0 メンテナンスと清掃	36
4.1 シート奥行のプリセット	8	8.1 通常のメンテナンス	36
4.2 シート幅のプリセット	9	8.2 シーティングシステムの清掃	36
4.3 バックレストのプリセット	10	8.3 再利用時の衛生基準:	36
4.4 跳ね上げアームレスト/着脱可能な単一支柱 式アームレストのプリセット	12	8.4 通常の清掃手順:	37
4.5 リクライニング跳ね上げアームレストのプリ セット	15	8.5 清掃用アクセサリ:	37
4.6 サイドガード	16	8.6 コントロール装置の清掃:	37
4.7 単一支柱式SEDEOライトアームレストのプリ セット	16	8.7 保管	37
4.8 センターマウント・レッグレストのプリセット ..	17	9.0 技術仕様書:	38
4.9 固定式センターマウント・レッグレストのプリ セット	18	9.1 適用基準/規格	38
4.10 電動式センターマウント・レッグレストのプリ セット	19	9.2 技術仕様書: SEDEO Proシーティングシステム	39
4.11 スイングアウェイ・レッグレストのプリセット ..	20	10.0 担保責任/保証	41
4.12 ヘッドレストのプリセット	21		
4.13 固定/スイングアウェイ・コントローラブラ ケットのプリセット	22		
4.14 太腿サポートのプリセット	23		
4.15 ラテラルのプリセット	24		
4.16 ラテラルスイングアウェイ膝サポートのプリ セット	25		
4.17 ポンメルのプリセット	25		
4.18 膝ベルト/シートベルト	26		
5.0 シーティングシステムの使用方法	27		
5.1 車椅子の乗り降り (移動)	27		
5.2 前からの乗り降りの準備:	27		
5.3 横からの乗り降りの準備	28		
5.4 ヘッドレスト	29		
5.5 スイングアウェイコントローラブラケット	29		
5.6 ラテラル (図5.11)	29		
5.7 膝サポート (図5.12)	30		
5.8 太腿サポート (図5.13)	30		
5.9 片麻痺アームレスト (図5.14)	30		
5.10 手押しハンドルの高さ (図5.15)	30		
5.11 ポンメル (図5.16)	30		

1.0 利用者の皆様へ

Sunrise Medicalの車椅子をお選びいただき、ありがとうございます。Sunrise Medicalの高品質モビリティ製品は、お客様の自立を助け、日常生活を過ごしやすいものにします。

1.1 この取り扱い説明書について

この取り扱い説明書は、シーティングシステムの使用とメンテナンスを安全に行っていただくための手引きです。このシーティングマニュアルはSunrise Medicalの車椅子取り扱い説明書を補完するものです。

- 車椅子取り扱い説明書
- シーティングシステム取り扱い説明書(この冊子)

この説明書およびすべての冊子をすべて読み、内容を理解するまで、車椅子を使用しないでください。

1.2 お問い合わせ

ご利用の車椅子の使用方法、メンテナンス、安全に関するご質問があれば、お住いの地域のSunrise Medical販売代理店にお問い合わせください。お住いの地域に販売代理店がない場合や、このほかのご質問については、Sunrise Medicalに書面またはお電話でお問い合わせください。

1.3 このマニュアルで使用する記号

 **危険 / 警告!**

負傷、深刻な負傷、または死亡の恐れのあるリスクを示します。

 **メモ / 注意!**

機器が破損する恐れのあるリスクを示します。

指示を守らない場合、負傷したり、製品や周囲を破損したりする恐れがあります。

2.0 安全のために

このような警告記号の横に記載されている指示には注意深く従ってください。指示に十分な注意を払わずにいると、負傷したり、車椅子や環境を傷める恐れがあります。安全に関する情報は、可能な限り対象の章に記載しています。

2.1 この製品で使用されている記号とラベル

車椅子に表示されている記号や指示は、安全設備の一部です。絶対に、隠したり取り外したりしないでください。車椅子を使用する限り、表示され、きちんと読み取れるようになっていることが必要です。

読み取れなくなったり、損傷したりした記号や指示は、ただちに交換または補修してください。担当の販売店に連絡して、ご相談ください。

図2.1: 警告 - 指挟みに注意

図2.2: 警告 - 車椅子を使用する前に、シートインターフェースのクイックリリースがしっかりと締まっていることを確認してください。特に、坂道では注意してください。

図2.3: 警告 - バックレストをリクライニングさせた状態や、立位モードで腰かけた状態、またはその両方で、坂道を走行しないでください。

2.2 安全のために: 温度

⚠ 危険! / 警告!

- 車椅子のモーターには、いかなる場合も直接触れないようにしてください。モーターは使用中常に稼働しており、高温になっている場合があります。使用後は、ゆっくりと冷えていきます。直接触れるとやけどをする恐れがあります。モーターが完全に冷めるには、使用後30分以上かかります。
- 車椅子を使用しないときは、品質保持のため直射日光のあたらないところに置いてください。シートや背もたれ、アームレストなど、一部の部品は、長時間直射日光に当たると高温になることがあります。これにより、やけどををしたり、皮膚にアレルギー症状を引き起こすことがあります。

2.3 安全のために: 可動部品

⚠ 危険! / 警告!

車椅子には、動いたり回転したりする部品があります。可動部品に触れると、深刻な負傷や、車椅子の損傷を引き起こす恐れがあります。車椅子の可動部品には触れないようにしてください。

- 車輪 (回転輪およびキャスト)
- 電動ティルトインスペース (姿勢を保持したまま傾ける)
- 電動シート昇降オプション
- 電動リクライニング
- コントローラのスイングアウェイブラケット

2.4 安全のために: 窒息の危険

⚠ 危険! / 警告!

このモビリティ補助器具には小さな部品が使用されており、状況によっては幼児が誤って飲み込み、窒息する恐れがあります。

図2.1

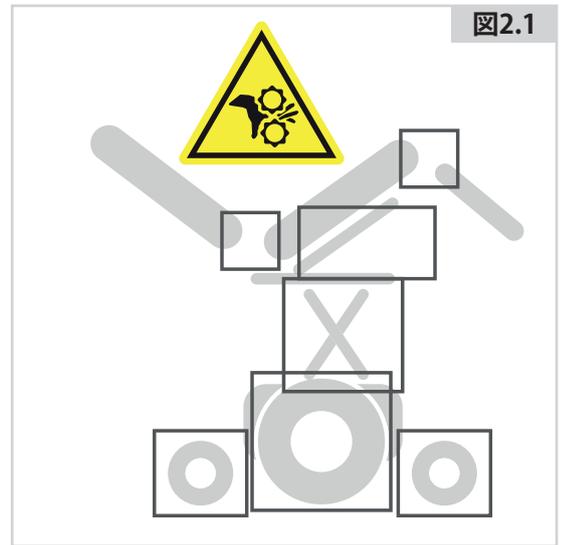


図2.2

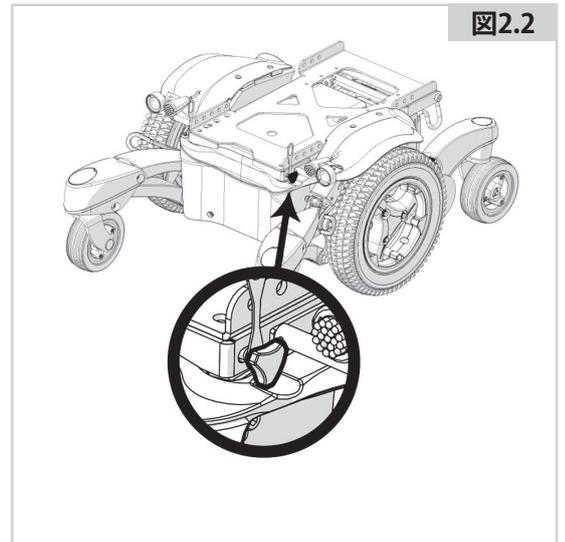
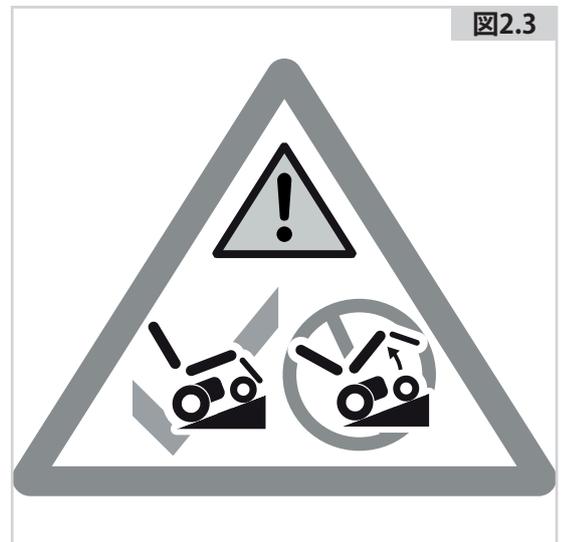


図2.3



2.5 安全のために:トレイ

安全のために:呼吸器トレイ

⚠ 危険!/ 警告!

呼吸器トレイの使用は、車椅子の安定性と総重量に影響を与えます。

- 使用する前に、バッテリーとベンチレーターがトレイにしっかりと固定されていることを確認してください。
- 事故防止のため、運転する前にサイズの増した車椅子に慣れておいてください。
- バックレストのリクライニングを行う際は、呼吸器トレイ周辺に何も無いことを確認してください。
- バックレストがリクライニング状態にあると、呼吸器トレイの組み立て時に指を挟むことがあるので、注意してください。
- 呼吸器トレイは呼吸器ユニットとそのバッテリーのみを載せることを目的として設計されており、酸素ボンベその他のものを載せることはできません。他の物を載せると、車椅子が不安定になる恐れがあります。
- 呼吸器トレイの取り付けとメンテナンスは、Sunrise Medical販売代理店が行うことが必要です。

安全のために:スイングアウェイトレイ:

⚠ 危険!/ 警告!

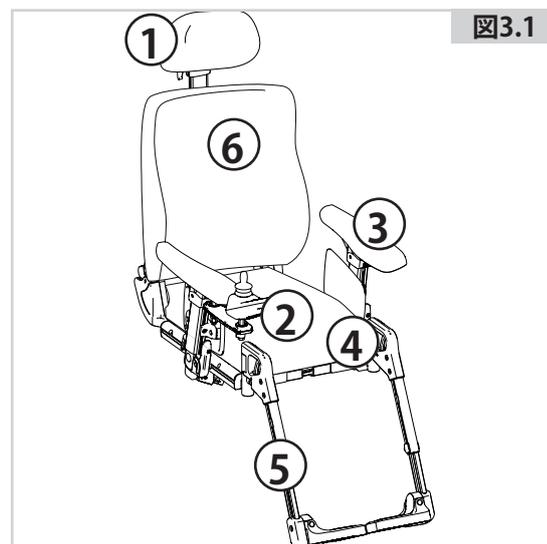
- トレイの最大耐荷重は2.5kgです。
- これを超過しないでください。トレイが破損したり、車椅子が不安定になったりする恐れがあります。
- 火のついたたばこや、その他の熱源をトレイに置かないでください。変形したり、跡が残ったりすることがあります。
- トレイを使用位置にセットする際には、四肢や衣服に干渉しないことを確認してください。

3.0 概要

この車椅子にはSEDEOプロシーティングシステムが搭載されています。SEDEOプロシーティングシステムは、頭、上体、腕、足を快適に支えます。体を最適な方法で支えることは、車椅子使用者が最大限に自立した生活を送ることにつながります。車椅子の設定は販売代理店が行うことが必要です。設定を誤ると、着座姿勢に悪影響を及ぼします。

主要なコンポーネント (図3.1):

1. ヘッドレスト
2. ジョイスティック
3. アームレスト
4. シートクッション
5. レッグレスト
6. バックレストクッション



4.0 シーティングシステムの設定

平均的な車椅子利用者という方は存在しません。このため、Sunrise Medicalの車椅子は使用前に使用者個人のニーズに合わせて調整できるようにしています。

このプリセットは、車椅子を初めて使う際に1度だけ行います。この作業は、特に明示されていない限り、販売代理店が行う必要があります。

ツールおよびキャリブレーションマーク

このシーティングシステムにはM5六角レンチが付属しています。専門家が行うシーティングシステムの設定すべてに使用できます。このM5六角レンチ (A) はフレームの図4.1に示す場所にあります。

⚠️ メモ / 注意!

シーティングシステムのさまざまな部品には、キャリブレーションマークが付いています。これには工場出荷時の設定が表示されています。

4.1 シート奥行のプリセット

バックレストフレームの奥行 (図4.2) :

1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。

⚠️ メモ / 注意!

- ・ シートの奥行を深くとる場合、機械的な調整を行う前にケーブルを延長してください。
- ・ シートレール/シートプレートのサイズには次の2種類があります：400-520mmおよび460-560mm。調節したシートの奥行に合ったシートレールを選んでください。
- ・ 長いシートレールをより安定させるため、シート奥行530mm以上の場合、図4.3に示すように追加の奥行調整用シート取り付けプレートを取り付けてください。

シートクッション長 (奥行) (図4.4)

標準的なシートクッション位置でお使いになる場合は、図4.4に示す穴を使用してください。クッションは前方向に1段階ずらして奥行を深くすることができます。

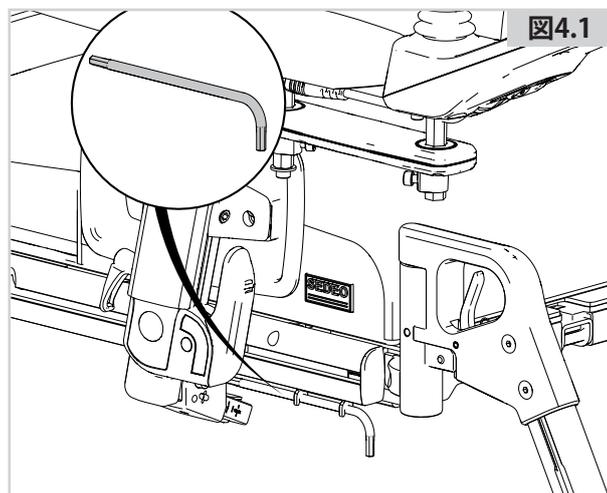


図4.1

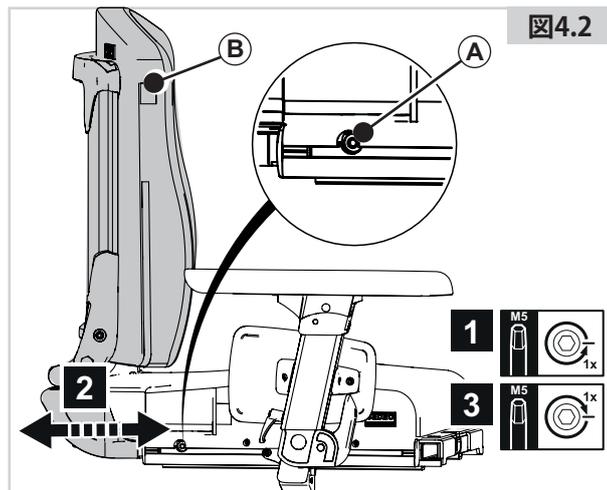


図4.2

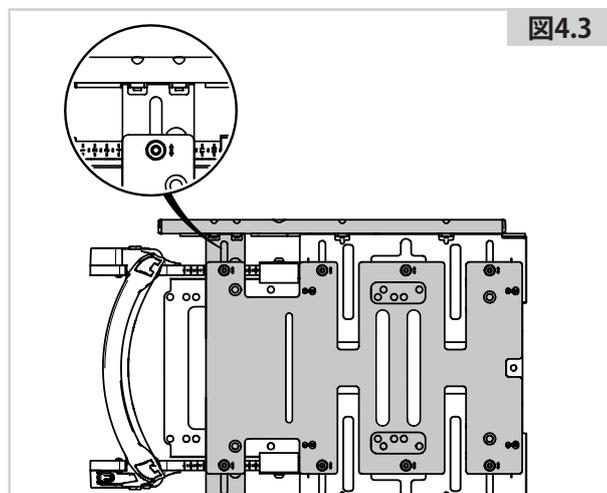


図4.3

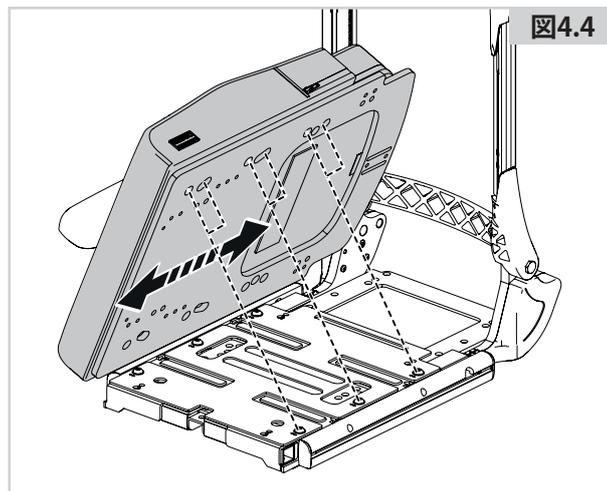


図4.4

4.2 シート幅のプリセット

跳ね上げアームレスト/着脱可能な単一支柱式アームレストの幅 (図4.5)

微調整を行えるのはアームレストのみです。大きな調整についてはシートプレート幅のプリセットも行ってください。

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

⚠️ メモ / 注意!

- ・アームレストの新しい位置がシートの位置調整に干渉しないことを確認してください。

リクライニング跳ね上げアームレストの幅 (図4.6)

1. 2つの(A)ねじを取り外します。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

⚠️ メモ / 注意!

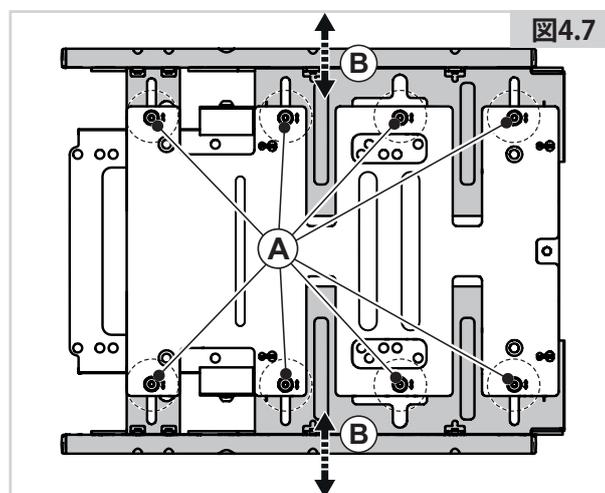
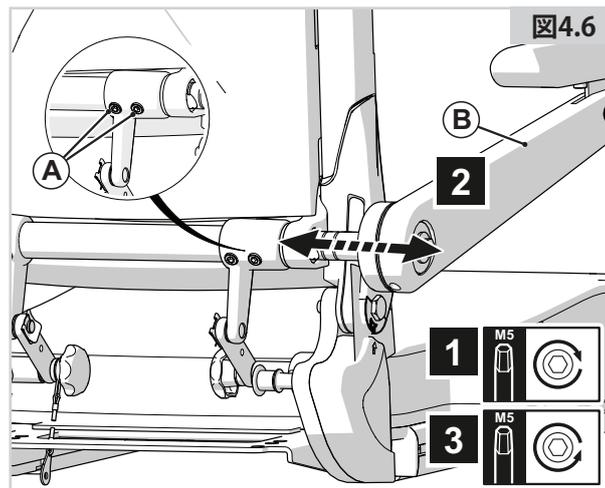
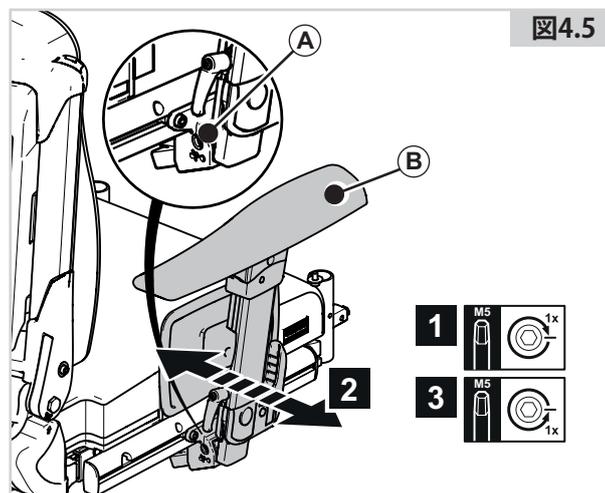
- ・アームレストの新しい位置がシートの位置調整に干渉しないことを確認してください。ケーブルがある場合は、長さを確認します。

シートプレートの幅 (図4.7)

シートプレートにアクセスできるように、ベルクロベルトを外してシートクッションを持ち上げます。

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

シートの幅は、スロットに沿ってつけられている目盛りに示されています。



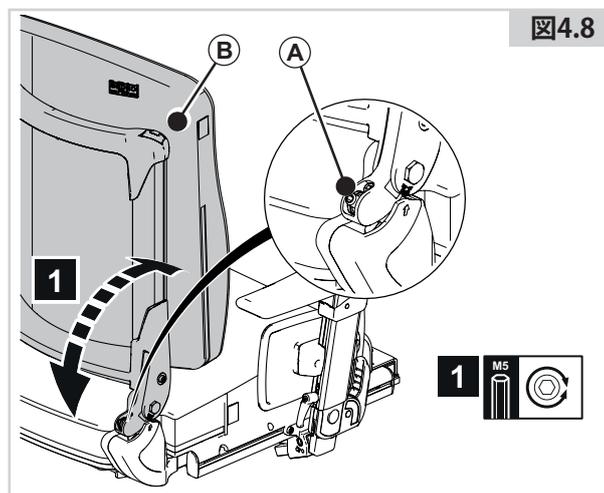
4.3 バックレストのプリセット

バックレストの角度 (図4.8)

1. (B)を調整するため、(A)を回します。

! メモ / 注意!

この調整には、電動工具を使用しないでください。

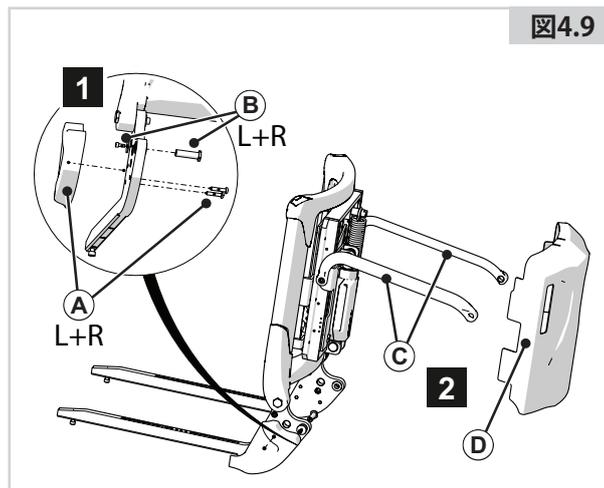


背もたれをリクライニングさせる際の標準バックレスト角度 (図4.9 - 4.10)

1. ボルト (A+B)を抜き、(C)を回します。
2. カバー (D)を取り外します。
3. 2つのねじを取り外して、アクチュエーターカバー (E)を取り外します。
4. (F)を1度回して緩めます。
5. 好みの位置に調整します。
6. (F)を締めます。

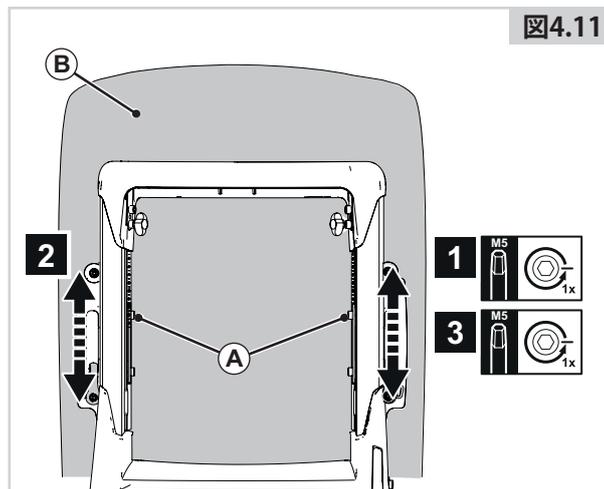
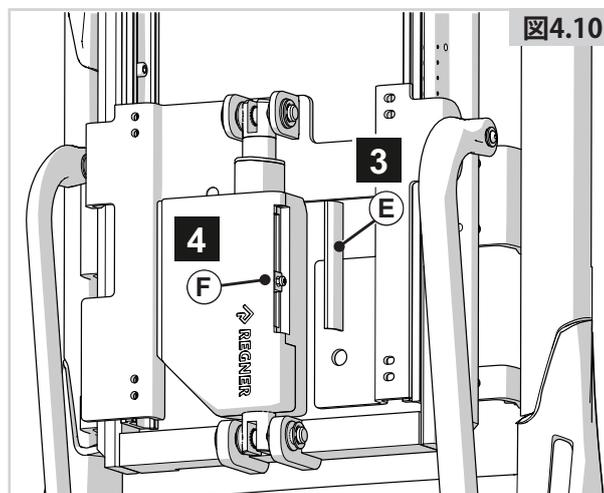
! メモ / 注意!

ボルト (B)を抜いたあとはバックレストを支えてください。前や後に倒れます。



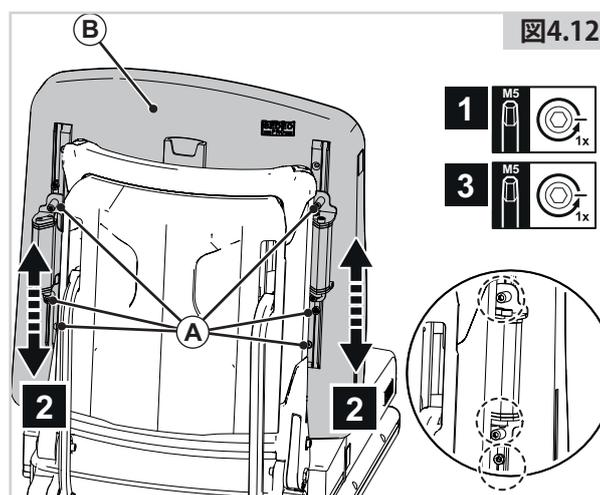
固定式バックレストの高さ (図4.11)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。



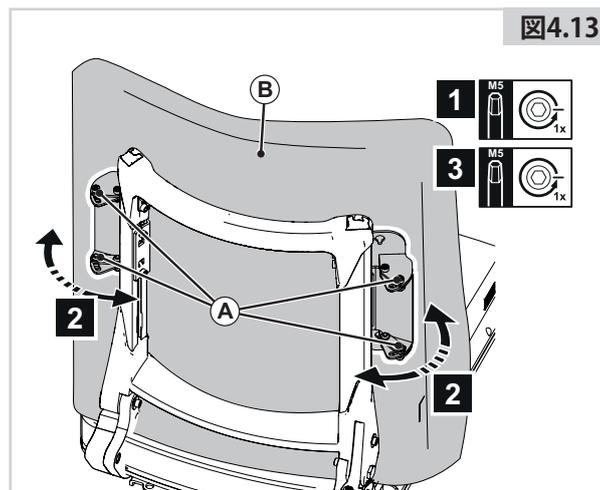
リクライニング式バックレストの高さ(図4.12)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。



バックレストのフレキシブルラテラルサポートの角度(図4.13)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。



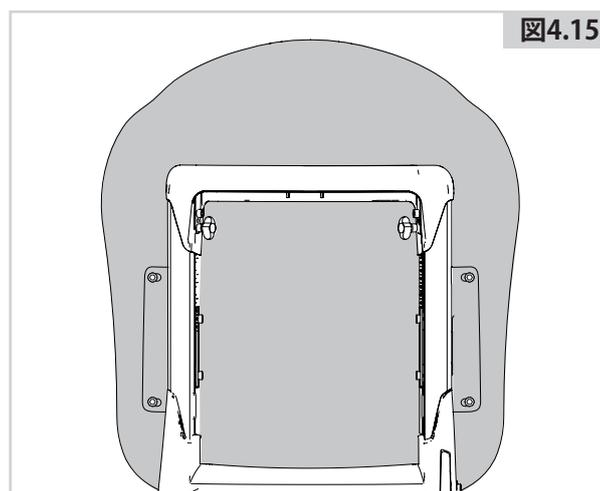
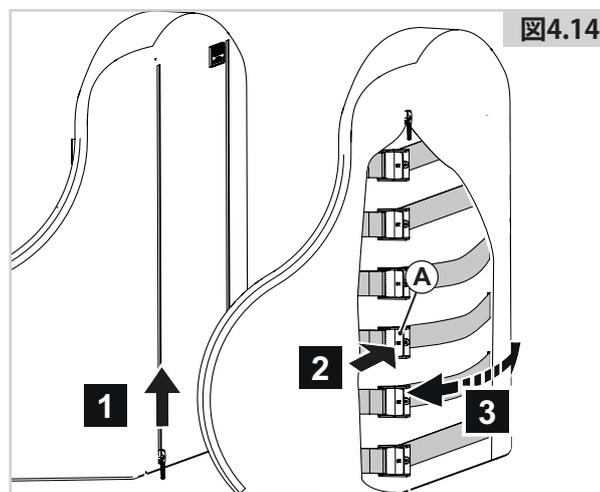
バックレストのフレキシブル曲面(図4.14)

この車椅子には、背中の曲面を調整し座り心地や安定性を高めることができるクッション入りのバックレストが付いています。バックレストの曲面の調整は、利用者が車椅子に座った状態で行えます。

1. ファスナーを開けます。
2. Aを押してベルトの固定を解除します。
3. それぞれのベルトを締めたり緩めたりします。
4. Aを解除して各ベルトの1位置を固定します。

J3バックレスト(図4.15)

📖 メモ: Sedeoプロシーティングシステムには、Jay 3バックレストをお使いいただけます。フィッティングと調整については、J3バックレストのオーナーマニュアルを参照してください。



4.4 跳ね上げアームレスト/着脱可能な単一支柱式アームレストのプリセット

アームレストの高さ(図4.16)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

腕がしっかりと支えられており、肩が上がっていないことを確認してください。

アームレストの奥行(図4.17)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

横方向に乗り降りする場合、跳ね上げアームレストをより後方に配置すると、スペースを広くとることができます。前方から乗り降りする場合、跳ね上げアームレストをより前方に配置すると、体をしっかり支えることができます。

アームレストパッドの奥行(図4.18)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

図4.16

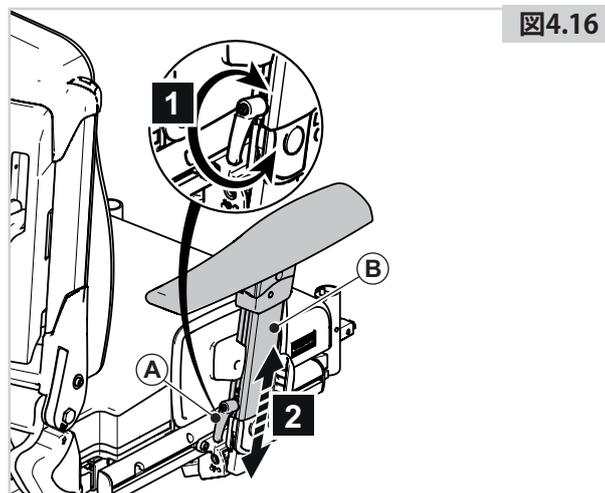


図4.17

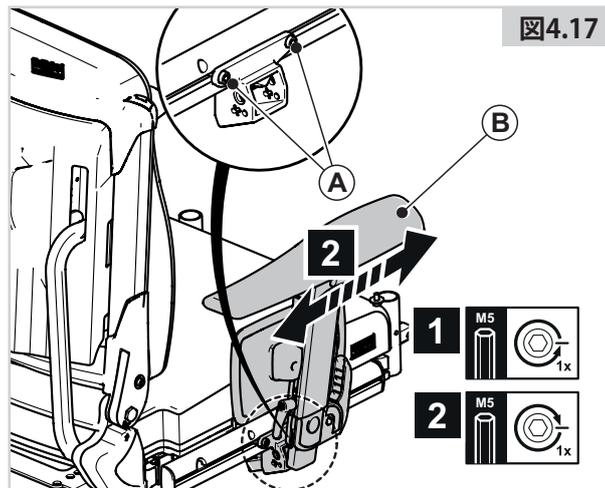
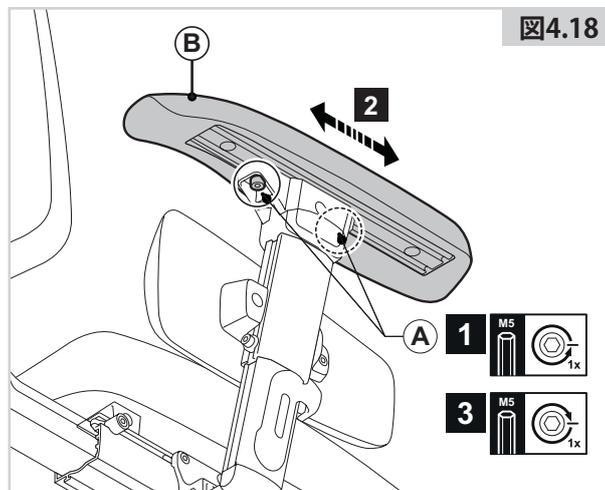


図4.18



アームレストパッドの幅 (図4.19-4.22)

外すには:

1. (A) を緩めます。
2. (B) を取り外します。
3. 1度回して (E) を緩めます。
4. (F) を取り外します。

調整するには:

1. BまたはCを使ってDの上に(A)をスライドさせます。

⚠️ メモ / 注意!

端子台の突起部が開口部にはまっていることを確認してください。

1. (A) の奥行を調整し、(E) を締めます。
2. コントローラブラケットの位置を調整します。
3. アームレストの位置を調整します。

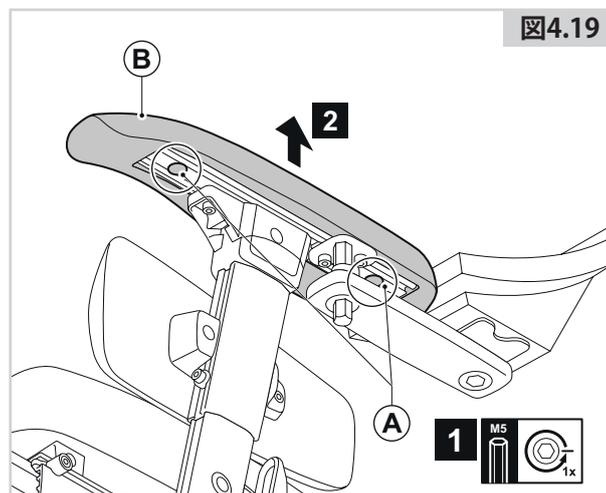


図4.19

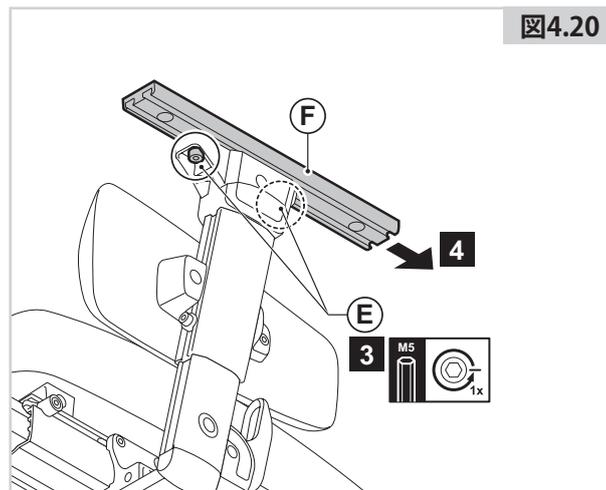


図4.20

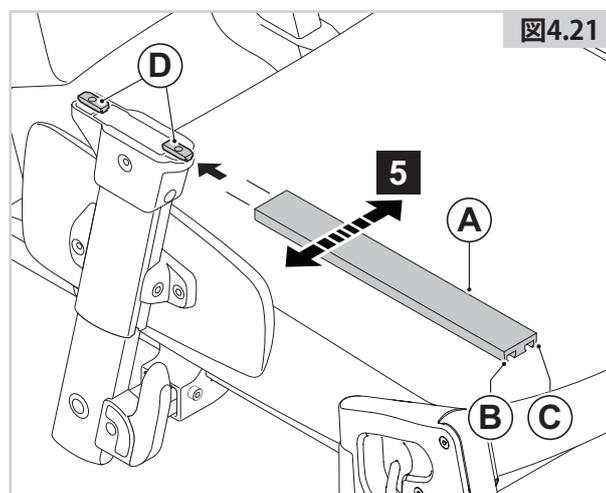


図4.21

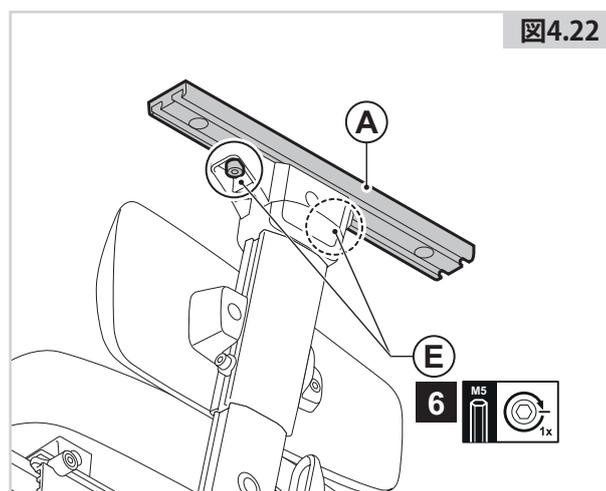


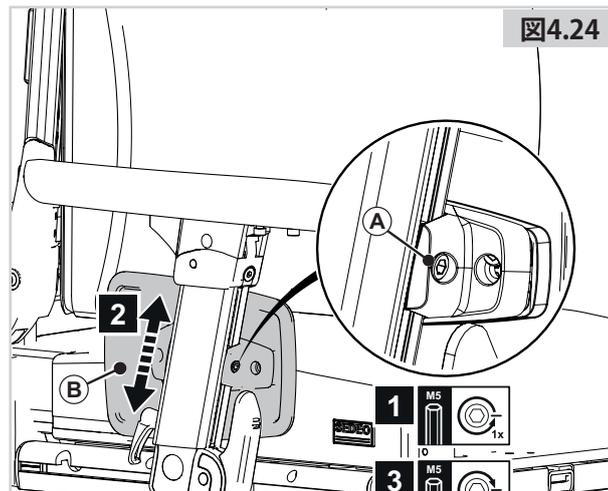
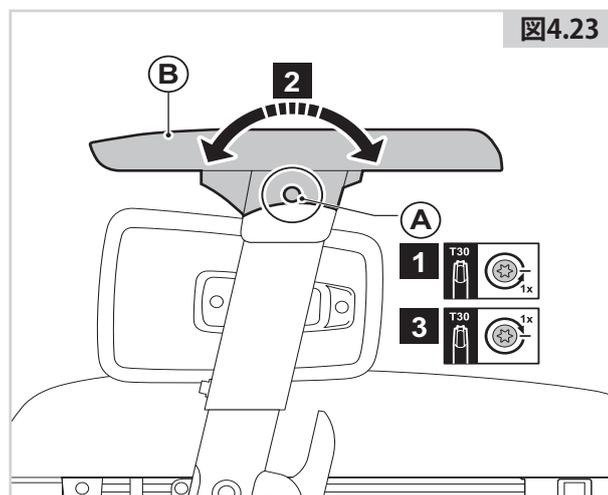
図4.22

アームレストの角度(図4.23)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

サイドガードの高さ(図4.24)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。



4.5 リクライニング跳ね上げアームレストのプリセット

アームレストの高さ

微調整や大まかな調整の手順は、2つのパートに分かれています：

パート1 (図4.25)

1. (B) を調整するため、(A) を回します。

パート2 (図4.26)

1. 1度回して(A)を緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. 両方のねじを再び締めます。

アームレストパッドの奥行 (図4.27)

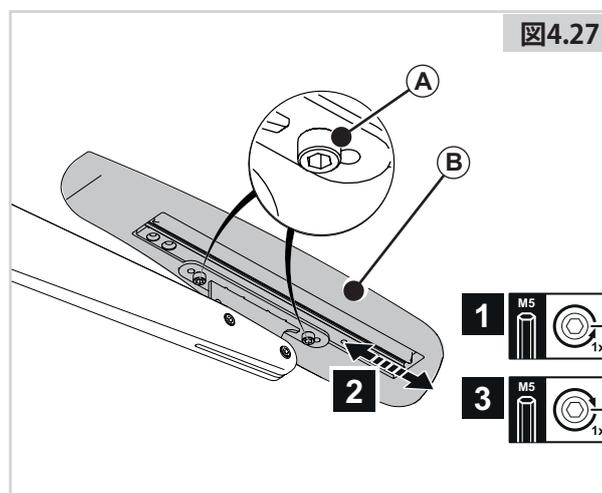
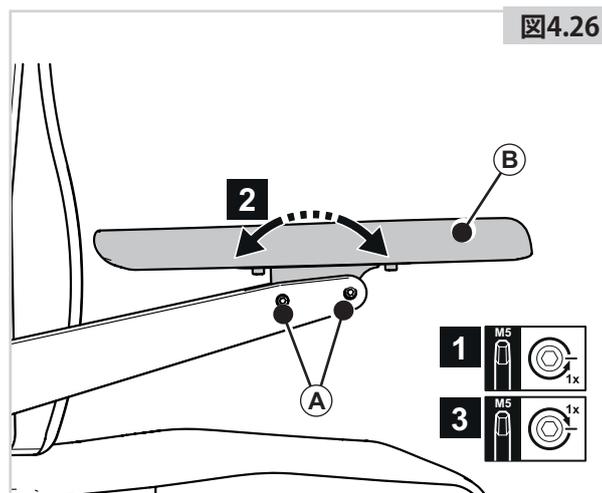
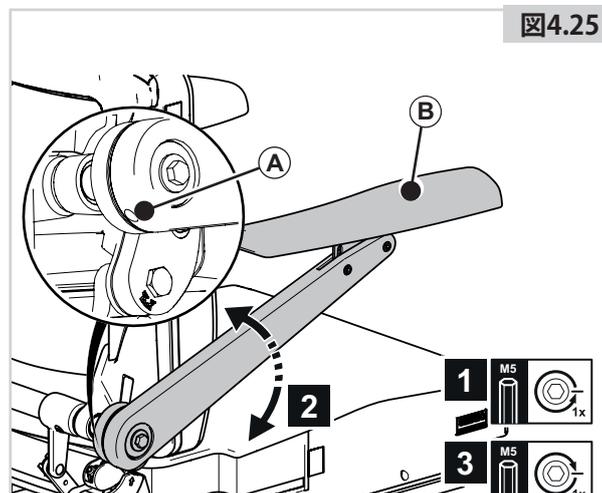
1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。

メモ

アームレストの位置を低くしてある場合に後側のねじを回すには、まず図4.24のねじ(A)を緩めてパッドの角度を調整してください。

⚠ 危険! / 警告!

ねじはすべて、きちんと締まっていることを定期的に点検してください。アームパッドが緩んでいると、押したときに滑り落ちてしまう可能性があります。



4.6 サイドガード

サイドガードの高さ(図4.28)

1. (A)のねじを緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

サイドガードの奥行(図4.29)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

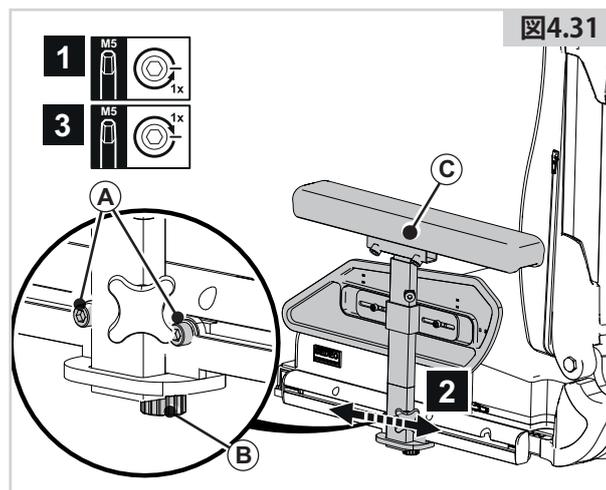
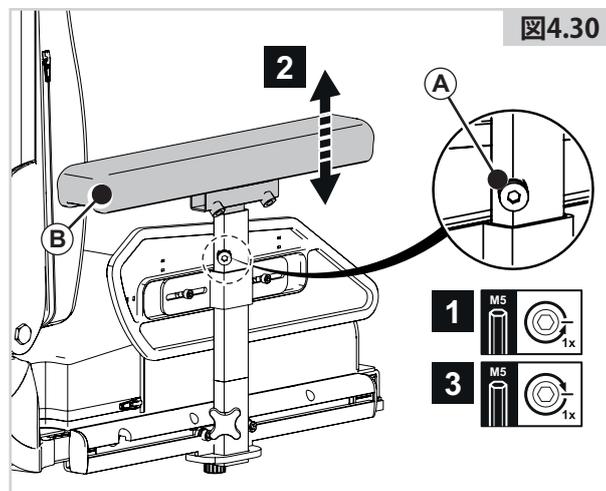
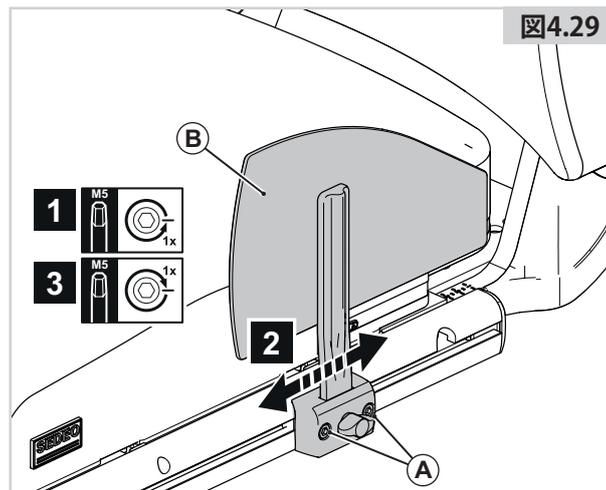
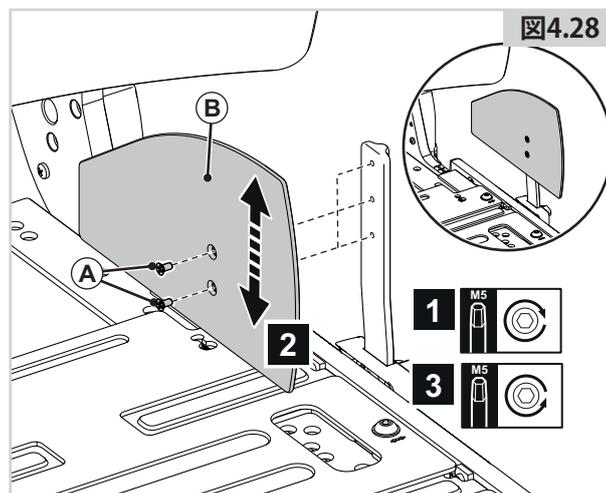
4.7 単一支柱式SEDEOライトアームレストのプリセット

アームレストの高さ(図4.30)

4. (A)を1度回して緩めます。
5. (B)を好みの位置に調整します。
6. (A)を締めます。

アームレストの奥行(図4.31)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を緩めます。
3. (C)を好みの位置に調整します。
4. (A)と(B)を緩めます。



4.8 センターマウント・レッグレストのプリセット

下腿の長さ(図4.32)

5. (A)を1度回して緩めます。
6. (B)を好みの位置に調整します。
7. (A)を締めます。

! メモ / 注意!

車椅子で障害物を乗り越える場合に備えて、(B)の下に適切な空間があることを確認してください。

膝角度(図4.33)

1. (A)を2度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

! メモ / 注意!

フットプレートがキャスターホイールに干渉する場合、高さや膝角度を変えてください。

足首角度(図4.34)

1. (A)を跳ね上げます。
2. 必要に応じて(B)を回して足首角度を調整します。
3. (A)を下ろします。

ふくらはぎ中央サポートの高さ(図4.35)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

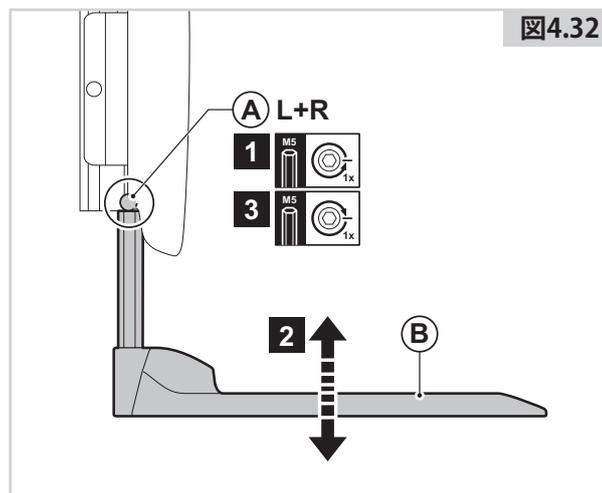


図4.32

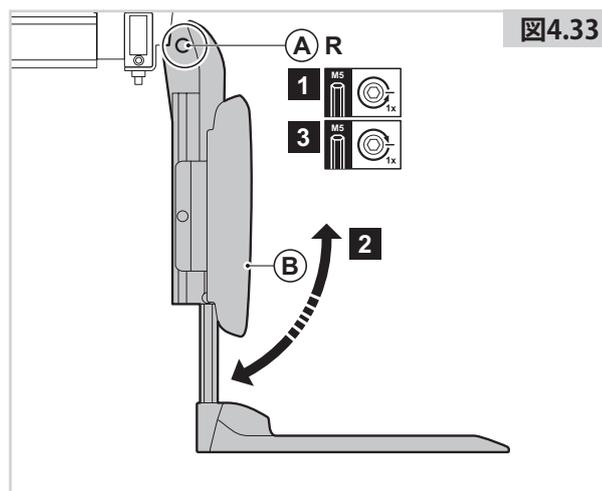


図4.33

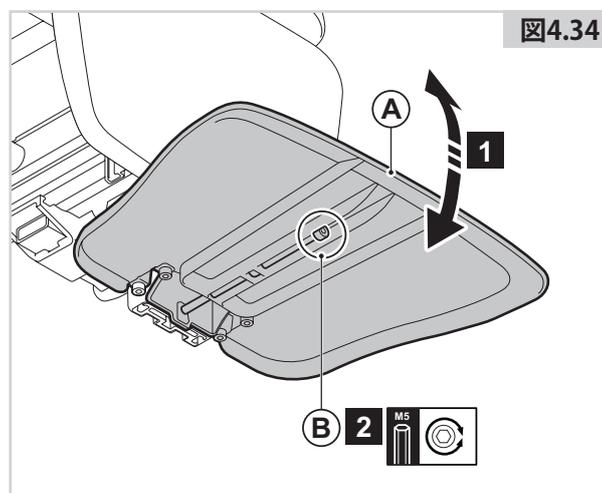


図4.34

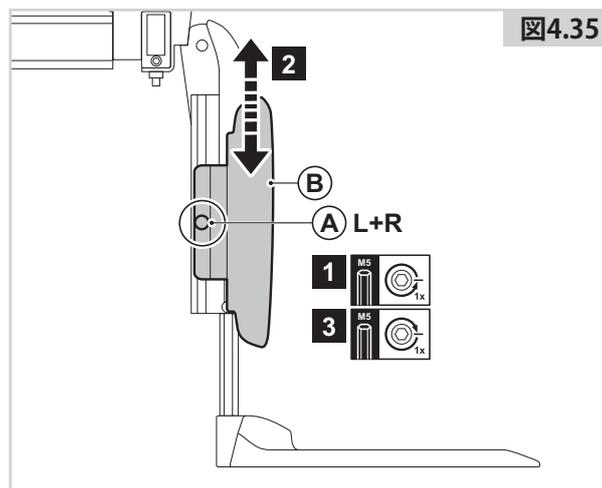
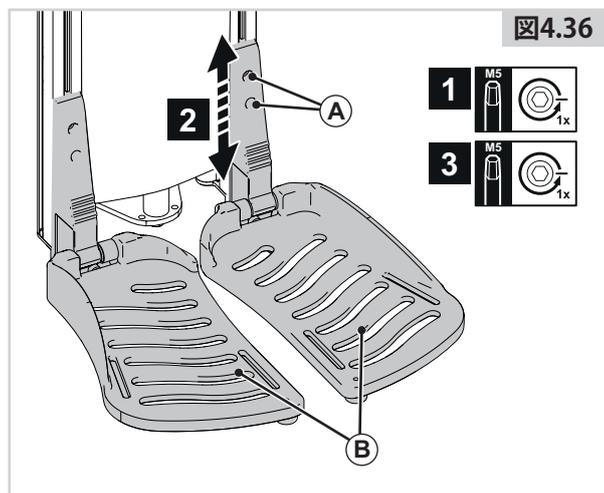


図4.35

4.9 固定式センターマウント・レッグレストのプリセット

下腿の長さ(図4.36)

1. 1度回して(A)を緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。
4. もう一方も同じようにします。

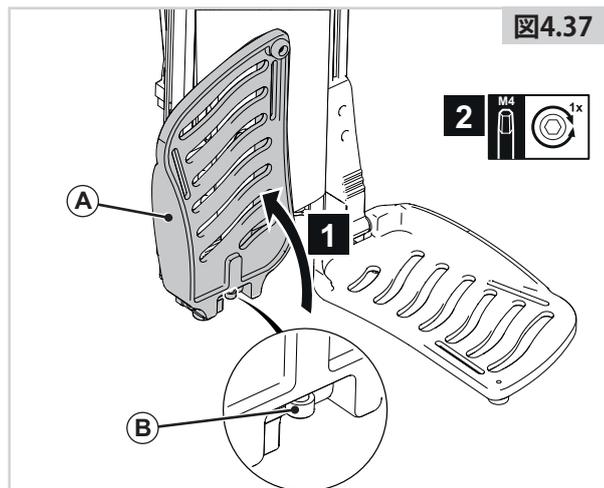


足首角度(図4.37)

1. (A)を跳ね上げます。
2. 必要に応じて(B)を回して足首角度を調整します(4mmの六角レンチ)
3. (A)を下ろします。

⚠ 危険! / 警告!

- 調整後、シートを通常の運転ポジションにした状態で次を確認します:床とフットプレートとの間に常に隙間(25mmを超える)があること。
- このテストは、使用者が車椅子に座ってレッグレストに足を載せた状態で行います。
- レッグレストが低すぎる状態で車椅子を使用すると、けがをしたり、車椅子やその周囲を破損したりする恐れがあります。

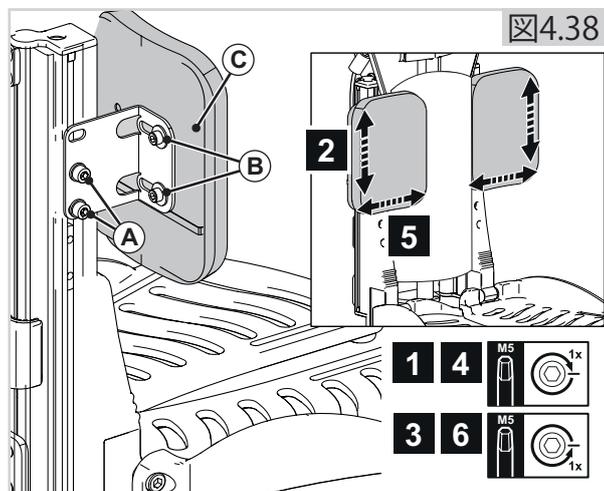


ふくらはぎパッドの高さ(図4.38)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (C)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

ふくらはぎパッドの幅(図4.38)

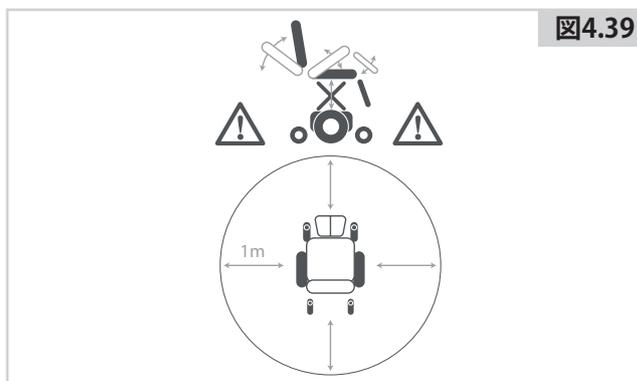
4. (B)を1度回して緩めます。
5. (C)を好みの位置に調整します。
6. (B)を締めます。



4.10 電動式センターマウント・レッグレストのプリセット

⚠ 危険! / 警告!

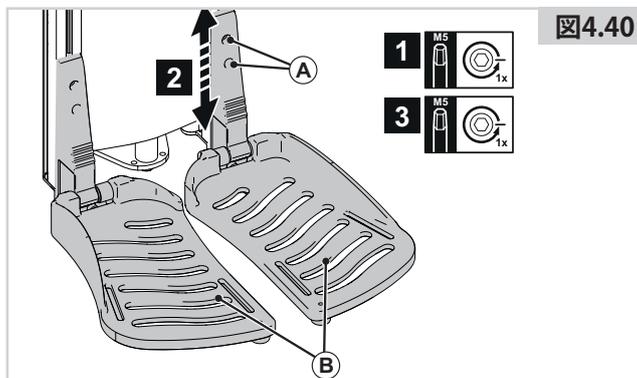
- ・レッグレストを伸ばして使用する際に、足を怪我することがないように、周囲の状況に注意してください。
- ・車椅子を運転する前に、レッグレストやフットプレートがキャスターに干渉していないことを、常に確認してください。
- ・いかなる場合も、レッグレストを使って車椅子を持ち上げたり運んだりしないでください。
- ・すべての可動部品について、指を挟まないように注意してください(図4.39)。



下腿の長さ(図4.40)

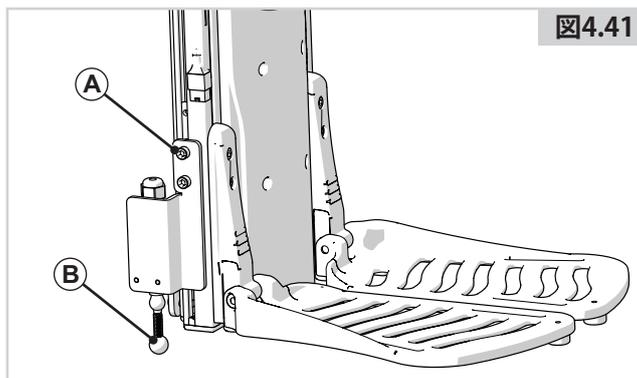
電動センターマウント・レッグレストは、地面に対して90°~180°の間で角度を調整でき、電動で180mmの伸縮を行えます。

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。
4. もう一方も同じようにします。



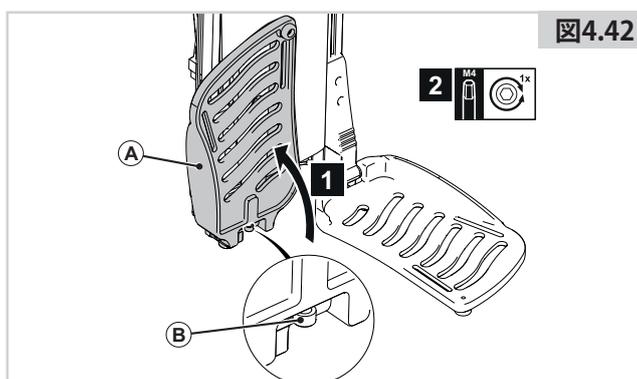
⚠ メモ / 注意!

オプションの「フットプレートを床に下ろす」機能がある場合(図4.41)、スイッチが取り付けられています。スイッチ(A)の高さは、下腿の長さを調整した後に調節する必要があります。スイッチに付いているボールがフットレスト(B)の下端より完全に下にあるようにしてください。



足首角度(図4.42)

1. (A)を跳ね上げます。
2. 必要に応じて(B)を回して足首角度を調整します(4mmの六角レンチ)
3. (A)を下ろします。



⚠ 危険! / 警告!

- ・調整後、シートを通常の運転ポジションにした状態で次を確認します:床とフットプレートとの間に常に隙間(25mmを超える)があること。
- ・このテストは、使用者が車椅子に座ってレッグレストに足を載せた状態で行います。

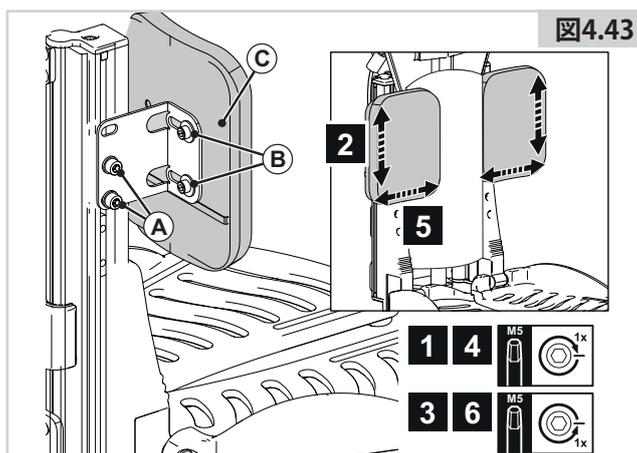
レッグレストが低すぎる状態で車椅子を使用すると、けがをしたり、車椅子やその周囲を破損したりする恐れがあります。

ふくらはぎパッドの高さ(図4.43)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (C)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

ふくらはぎパッドの幅(図4.43)

4. (B)を1度回して緩めます。
5. (C)を好みの位置に調整します。
6. (B)を締めます。



4.11 スイングアウェイ・レッグレストのプリセット

レッグレストの幅(図4.44)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

下腿の長さ(図4.45)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

⚠️メモ/注意!

車椅子で障害物を乗り越える場合に備えて、(B)の下に適切な空間があることを確認してください。

足首角度(図4.46)

1. (A)を数度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

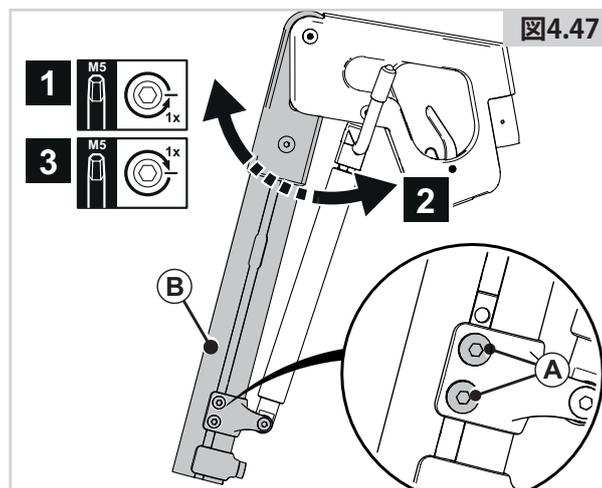
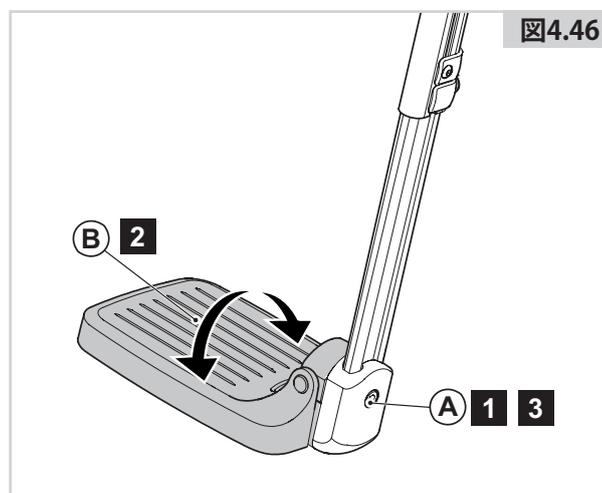
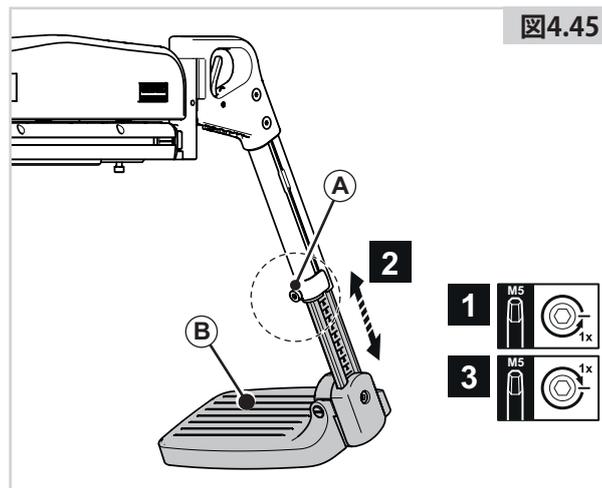
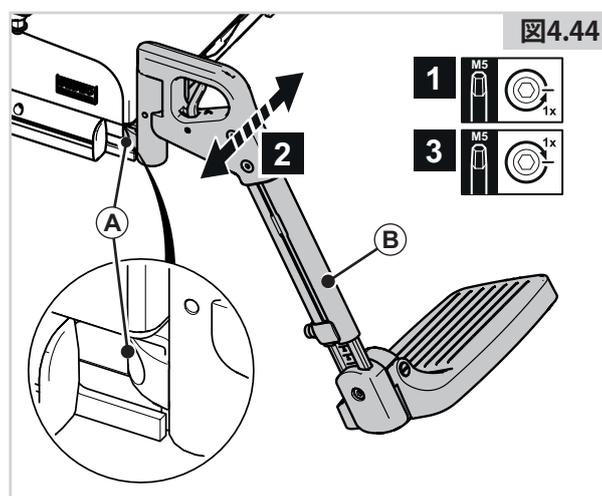
膝角度手動/電動昇降レッグレスト(図4.47)

フットプレートの位置は、膝角度を調整することで変わります。

1. (A)を数度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

⚠️メモ/注意!

フットプレートがキャスターホイールに干渉する場合、高さや膝角度を変えてください。



ふくらはぎパッドの高さ (図4.48)

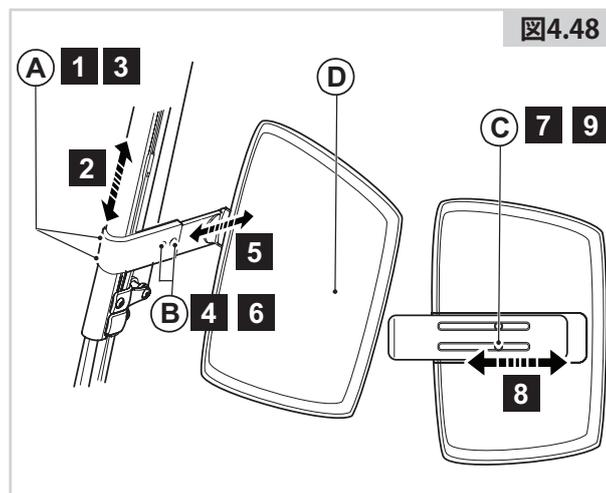
1. (A) を数度回して緩めます。
2. (D) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。

ふくらはぎパッドの奥行 (図4.48)

4. (B) を数度回して緩めます。
5. (D) を好みの位置に調整します。
6. (B) を締めます。

ふくらはぎパッドの幅 (図4.48)

7. (D) の背後にある (C) を数度回して緩めます。
8. (D) を好みの位置に調整します。
9. (C) を締めます。



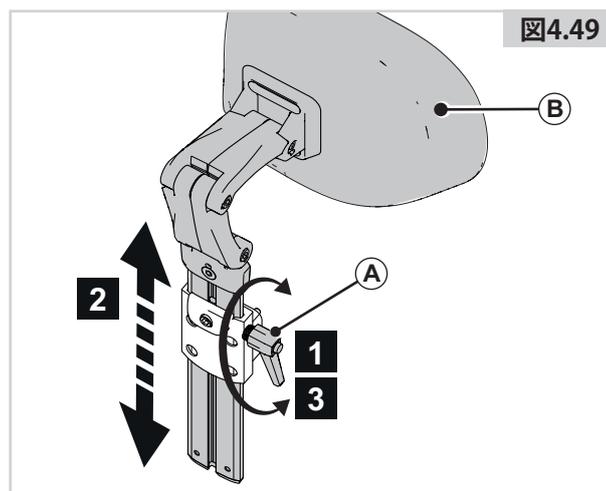
4.12 ヘッドレストのプリセット

⚠ 危険! / 警告!

- 使用者/車椅子のためにヘッドレストをオプションで付けている場合、ヘッドレストを付けない状態では絶対に運転しないでください。
- 車椅子に使用者を乗せた状態で車で移動する場合、ヘッドレストを付けない状態では絶対に使用しないでください。

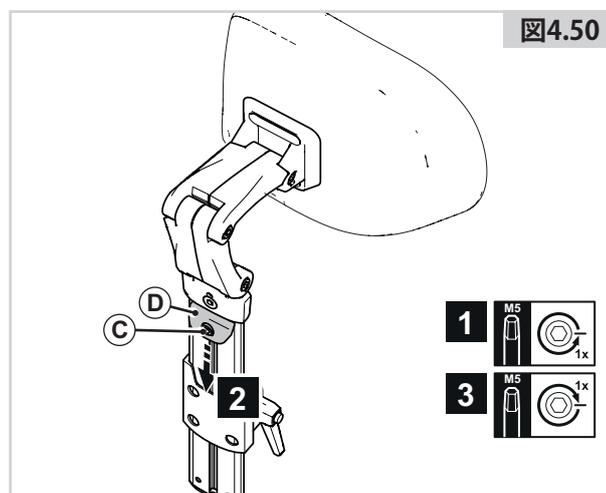
ヘッドレストの高さ (図4.49)

1. (A) を数度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。



メモリー設定 (図4.50)

1. (C) を1度回して緩めます。
2. (D) をスライドしてできるだけ下げます。
3. (C) を締めます。

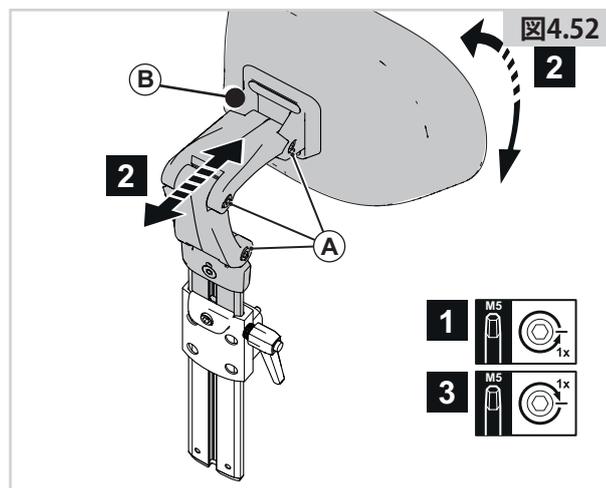


ヘッドレストの位置設定 (図4.51)

1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。

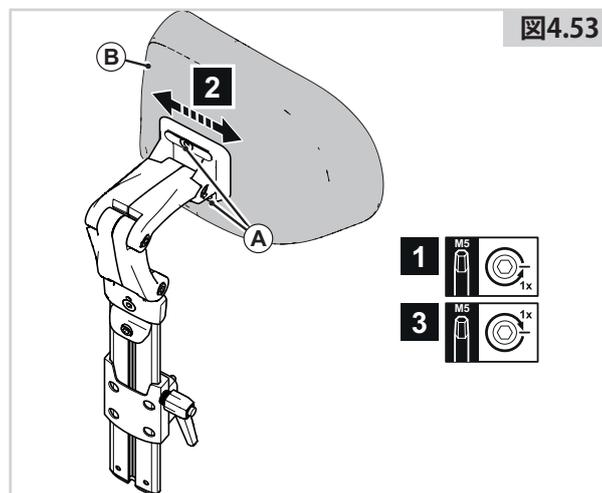
⚠ メモ / 注意!

ヘッドレストの高さとクッションの傾きを必要に応じて調整してください。



ヘッドレストクッションの横位置の設定 (図4.53)

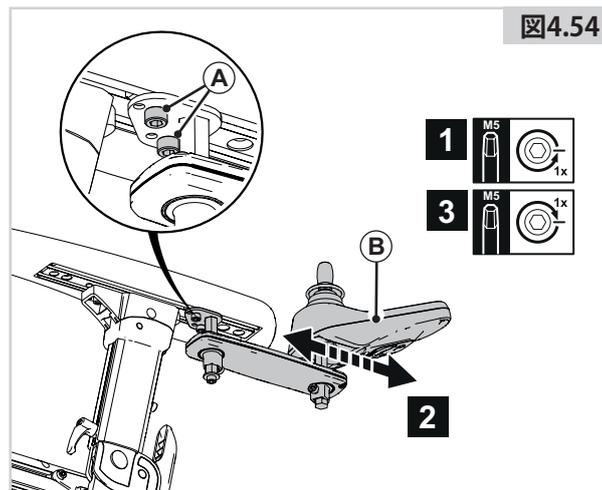
1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。



4.13 固定/スイングアウェイ・コントローラブラケットのプリセット

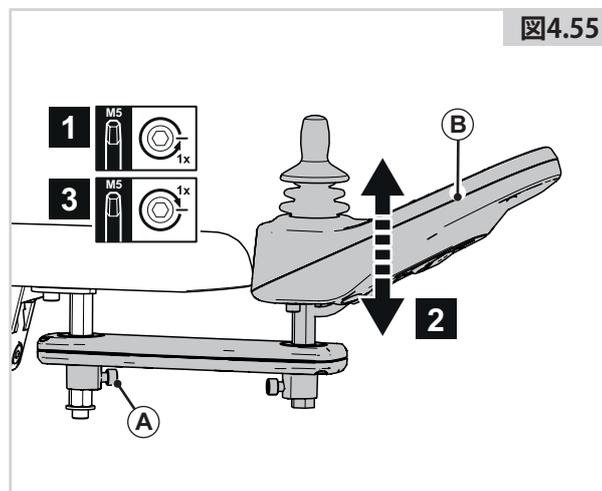
コントローラの奥行 (図4.54)

1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。



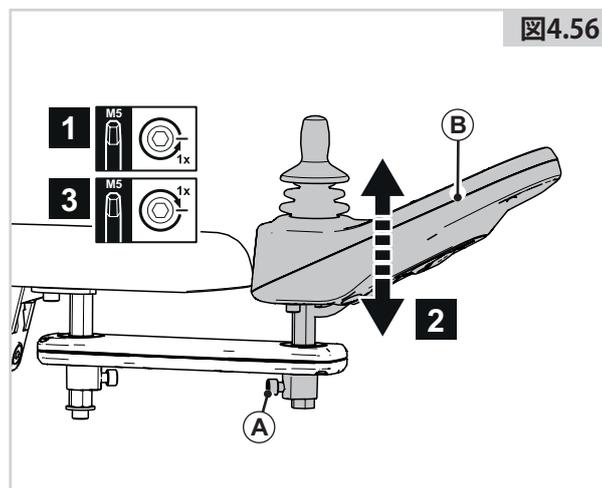
コントローラの高さ (1) (図4.55)

1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。



コントローラの高さ (2) (図4.56)

1. (C) を1度回して緩めます。
2. (D) を好みの位置に調整します。
3. (C) を締めます。



4.14 太腿サポートのプリセット

太腿サポートの高さ(図4.57)

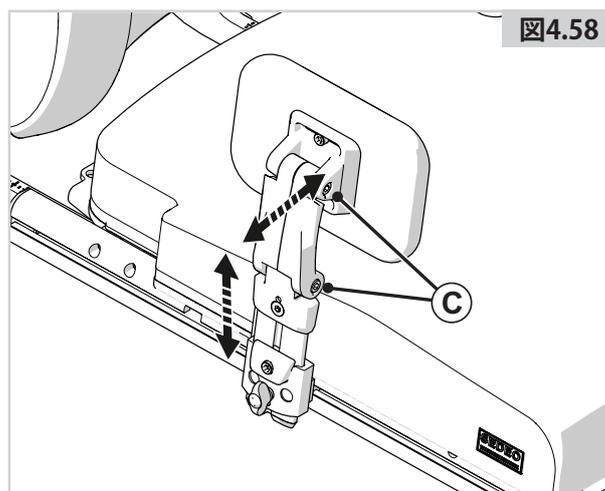
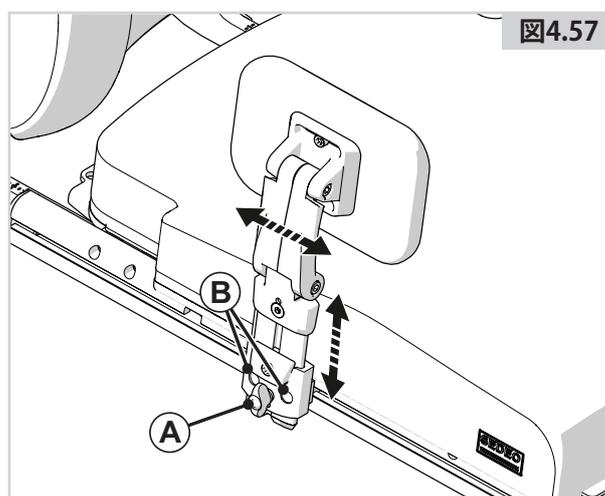
1. (A)を1度回して緩めます。
2. 好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。

太腿サポートの奥行(図4.57)

1. (A)を1度回して緩め、太腿サポートを持ち上げます。
2. (B)を1度回して2つのねじを緩めます。
3. 好みの位置に調整します。
4. (B)を締め、続いて(A)を締めます。

太腿サポートの幅(図4.58)

1. (C)を1度回して緩めます。
2. 好みの位置に調整します。
3. (C)を締めます。



4.15 ラテラルのプリセット

ラテラルの幅 (図4.59)

1. (A) を完全に緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。

ラテラルの高さ (図4.60)

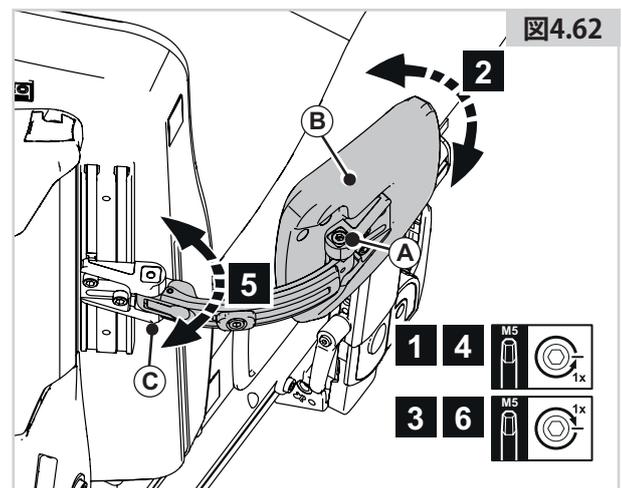
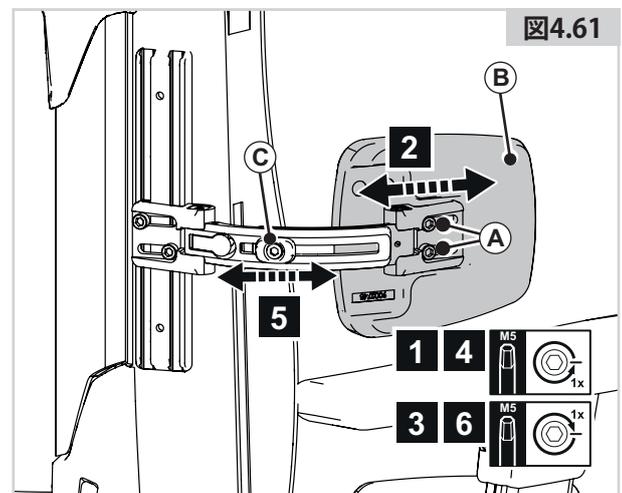
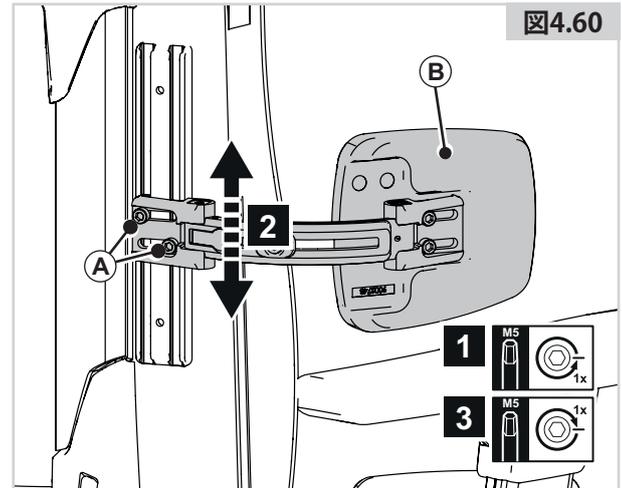
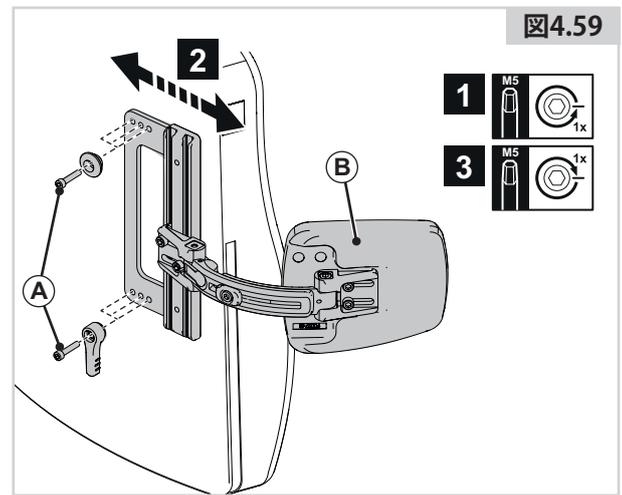
1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。

ラテラルの奥行 (図4.61)

1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。
4. (C) を1度回して緩めます。
5. (B) を好みの位置に調整します。
6. (C) を締めます。

ラテラルの角度 (図4.62)

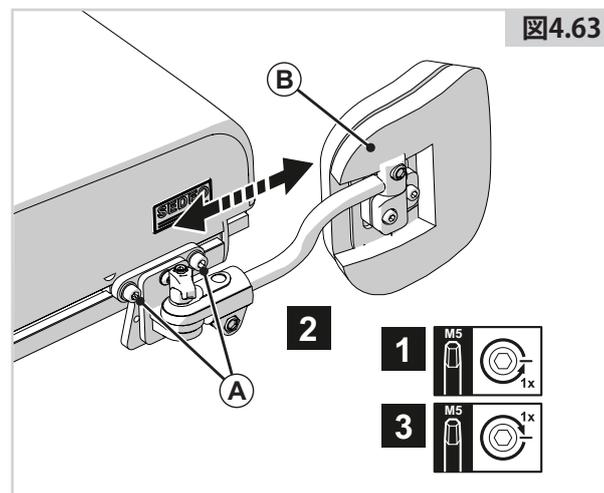
1. (A) を1度回して緩めます。
2. (B) を好みの位置に調整します。
3. (A) を締めます。
4. (C) を1度回して緩めます。
5. (B) を好みの位置に調整します。
6. (C) を締めます。



4.16 ラテラルスイングアウェイ膝サポートのプリセット

膝サポートの奥行(図4.63)

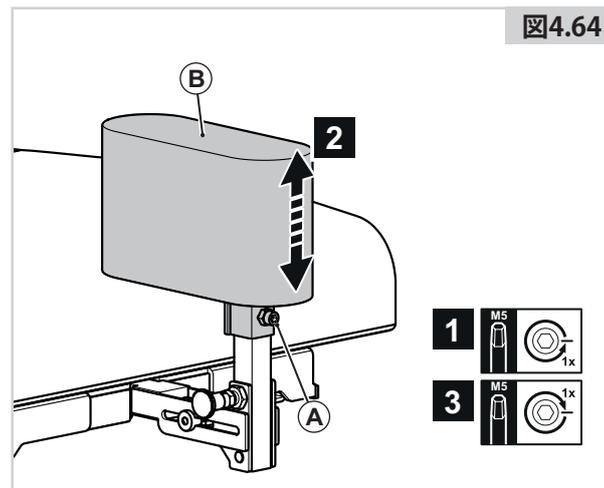
1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。



4.17 ポンメルのプリセット

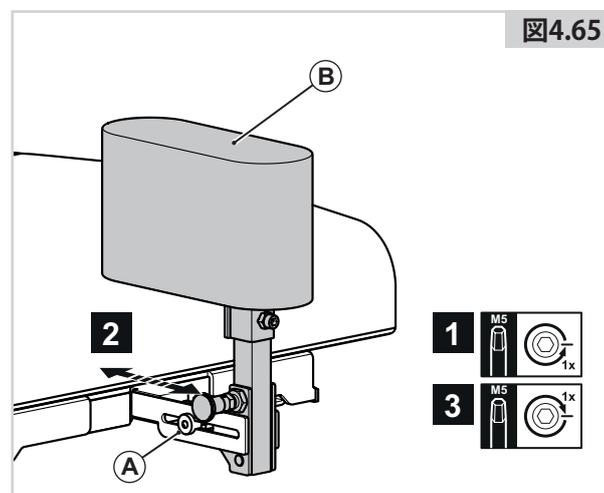
ポンメルの高さ(図4.64)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。



ポンメルの奥行(図4.65)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置に調整します。
3. (A)を締めます。



4.18 膝ベルト/シートベルト

⚠ 危険!/ 警告!

- この製品は、1台の車椅子に1人のみを固定するために使用してください。
- 膝ベルトは、車両での輸送時の固定を目的としているものではありません。推奨されている乗員固定システムを必ずお使いください。
- この警告に留意することを怠ると、重篤な負傷や死亡の恐れがあります。
- 介助者や付添人は、ベルトを正しく操作できるように訓練を行ってください。
- 介助者や付添人が訓練を受けていないと、非常事態に際して対応が遅れることがあります。

膝ベルト/シートベルトの取り付け

1. (A) を、左右のねじでシートフレームに取り付けます。(図4.67)

膝ベルトによる利用者の固定

- 膝ベルトを調整し、安全性と快適性を保つため、手のひらの厚みを越えない程度のゆるみを持たせます(図4.68)。
- この遊びは膝ベルトを通常の張力で締めている場合に持たせるもので、大きな隙間やたるみを持たせてはなりません。
- 通常は、膝ベルトを締めてください。これにより、ベルトがおおよそ45°の角度で固定され(図4.69)、正しく調整されていれば、使用者がシートから滑り落ちるのを防ぐことができます。
- ベルトを外した状態でシートの上に置きます。左利きの場合はバックルの開口部が右を向き、右利きの場合は開口部が左を向くようにします。ベルトのもう一方の端を、バックレストの支柱とバックレストの間から通します。

⚠ 危険!/ 警告!

- 使用前には、シートベルトが正しく締められており、調整されていることを常に確認してください。
- ベルトが緩すぎると、使用者が滑り落ちて重傷を負う場合があります。
- 膝ベルトと固定用のコンポーネントは定期的に点検し、ほつれや傷みがないことを確認してください。必要に応じて交換します。
- サービス実施時には、バックルが正しく機能していること、素材やプラスチックのブラケットに劣化の兆候が見られないことを確認してください。
- 定期的に行うチェック/作業:
 - すべての位置調整コンポーネント同様、時間とともに変化する使用者の着座位置に合わせて補正を行うことが必要です。
 - ベルトを定期的に確認して締め具合を調整し、使用者の安全と快適性が保たれるようにします。

図4.66

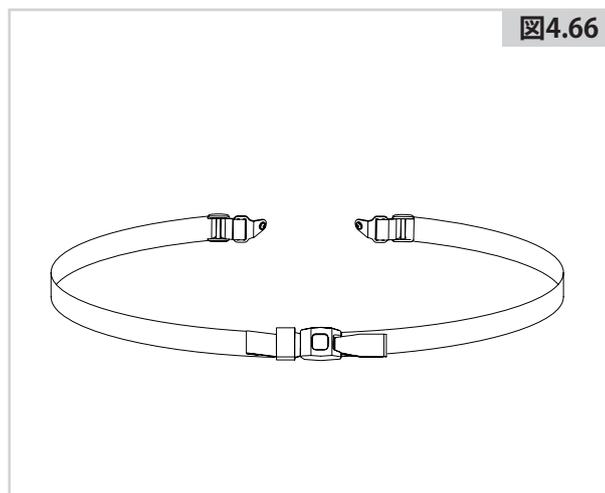


図4.67

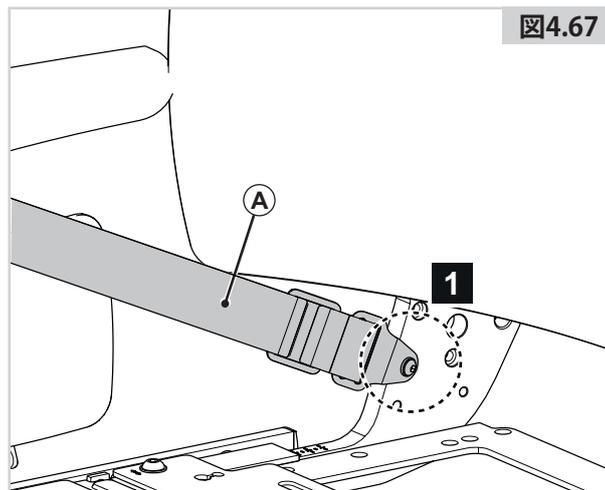


図4.68

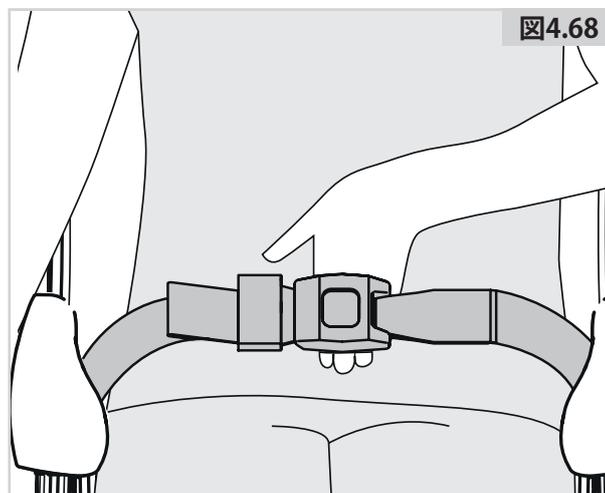
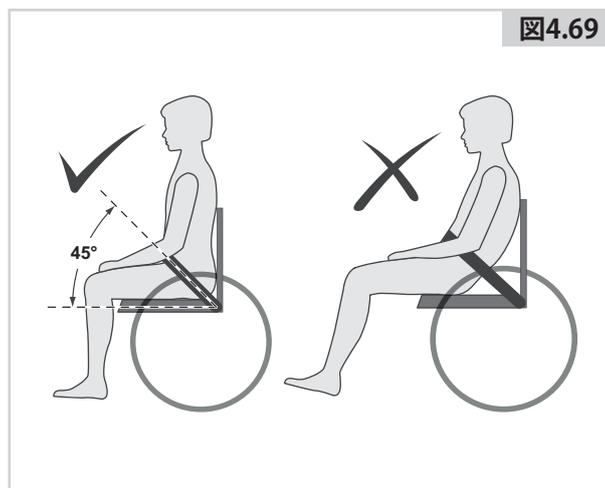


図4.69



5.0 シーティングシステムの使用方法

5.1 車椅子の乗り降り (移動)

Sunrise Medicalでは、お客様のニーズに最も適した前、または横からの乗り降りの方法についてかかりつけの医療関係者に相談することをお勧めしています。これにより、怪我のリスクを軽減できます。

⚠ 危険! / 警告!

落下防止:

- 乗り降りの際には必ずコントローラのスイッチを切り、誤って動かしてしまわないようにします。これを怠ると、誤ってジョイスティックに触れてしまい、予期せぬタイミングで動かしてしまうことがあります。
- フリーホイールスイッチが「運転」にセットされていることを確認します。  車椅子取り扱い説明書
- 前のキャスターを回して、キャスターが前を向いていないようにします。
- かかりつけの医療関係者と協力して、安全な乗り降りの方法を習得してください。
- モーターにブレーキがかかっていることを確認してください。乗り降りの最中にシステムが動き出さないようにします。
- ひとりで乗り降りすることは危険です。すぐれたバランス感覚と俊敏さが求められます。乗り降りの際には必ず、シーティングシステムの座席が体の下にない瞬間があります。
- 乗り降りの際にどのような姿勢をとるか、どのように体を支えるかを習得してください。
- 自分で確実に乗り降りができるようになるまで、誰かに介助してもらってください。
- フットレストに立たないでください。フットレストに全体重を乗せると、車椅子が破損したり、車椅子が浮き上がるなどの危険な状況を引き起こす恐れがあります。
- 足がフットレストの隙間に引っかかったり挟まってしまうことがないように注意してください。

5.2 前からの乗り降りの準備:

⚠ 危険! / 警告!

車椅子を、乗り降り先の椅子にできるだけ近づけます。

スイングアウェイ・レッグレスト(図5.1)

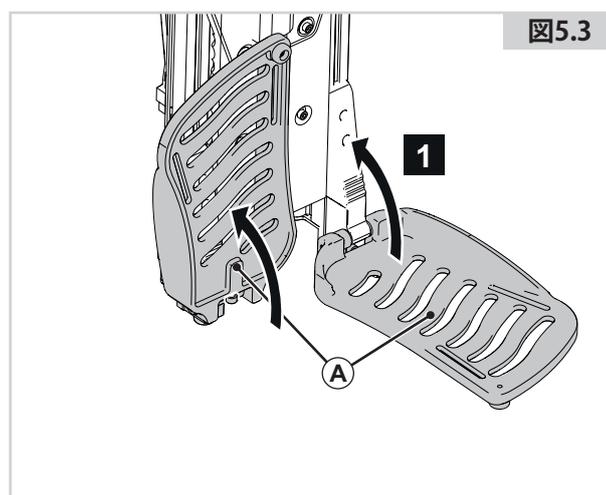
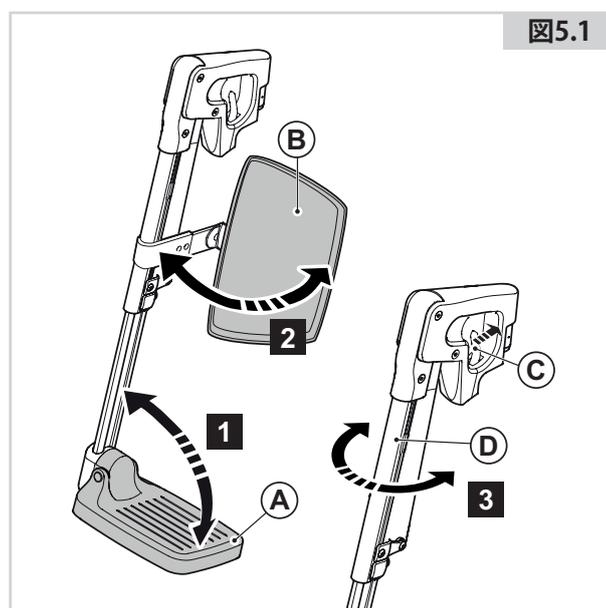
1. フットサポート(A)を上げます。
2. ふくらはぎプレート(B)がある場合、側面に動かします。
3. 可能なら、(C)を後方に押し、レッグレスト(D)を側面に動かします。

センターマウント・レッグレスト(図5.2)

1. (A)を跳ね上げます。

電動式センターマウント・レッグレスト(図5.3)

1. (A)を2つとも跳ね上げます。



5.3 横からの乗り降りの準備

⚠ 危険! / 警告!

- 車椅子を、乗り移り先の椅子にできるだけ近づけます。可能であれば、乗り換え用のボードを使います。
- 座面のできるだけ奥に乗り移ります。座り損ねたり、転倒したりするリスクを軽減できます。

⚠ メモ / 注意!

- コントローラのバージョンによっては、横に回してずらす必要があります。
- アームレストをたたむ前にトレイを外します。
- たたんだアームレストにもたれないでください。

跳ね上げアームレスト (図5.4)

1. (A) を押します。
2. (B) を後ろに畳みます。

着脱可能な単一支柱式アームレスト (図5.5)

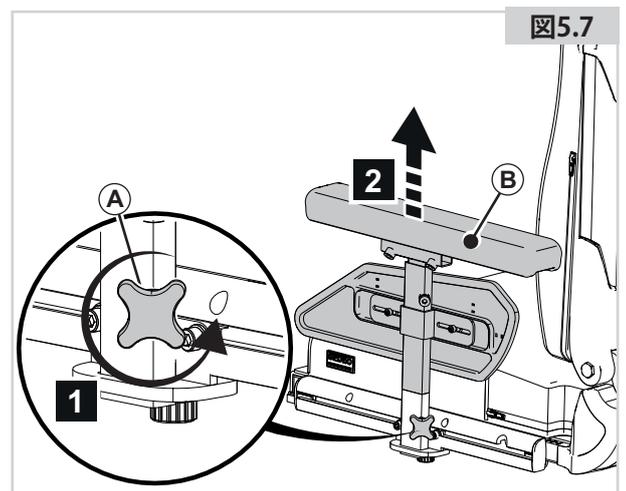
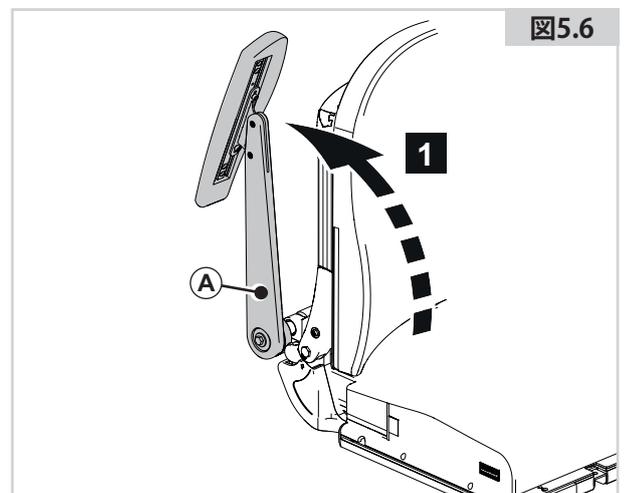
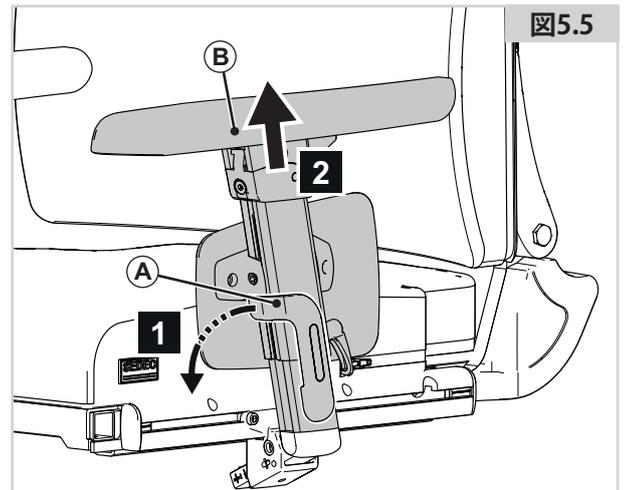
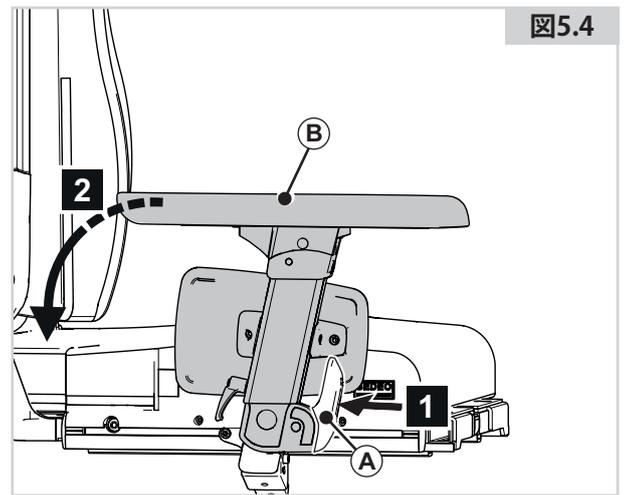
1. (A) を下方に傾けます。
2. (B) を取り外します。

リクライニング跳ね上げアームレスト (図5.6)

1. (A) を後ろに畳みます。

単一支柱式SEDEOライトアームレスト (図5.7)

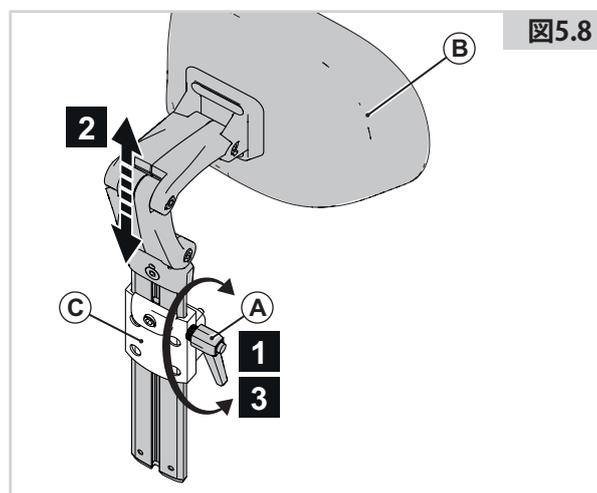
1. Aを緩めます。
2. Bを取り外します。



5.4 ヘッドレスト

ヘッドレストの取り外し/取り付け (図5.8)

1. (A)を持ち上げます。
2. (B)を(C)から抜く、または(C)にはめます。
3. (A)を押し下げます。



5.5 スイングアウェイコントローラブラケット

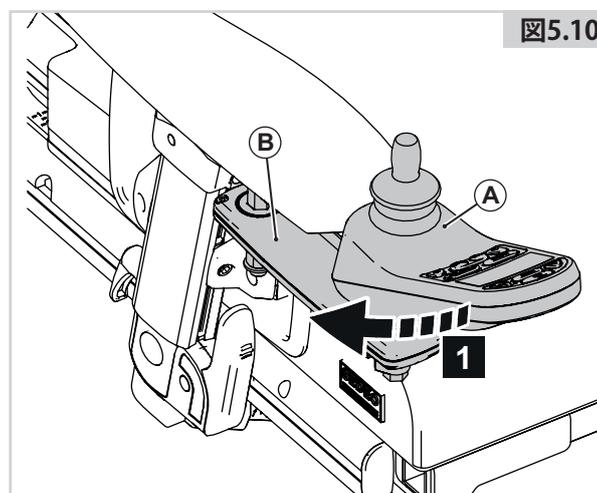
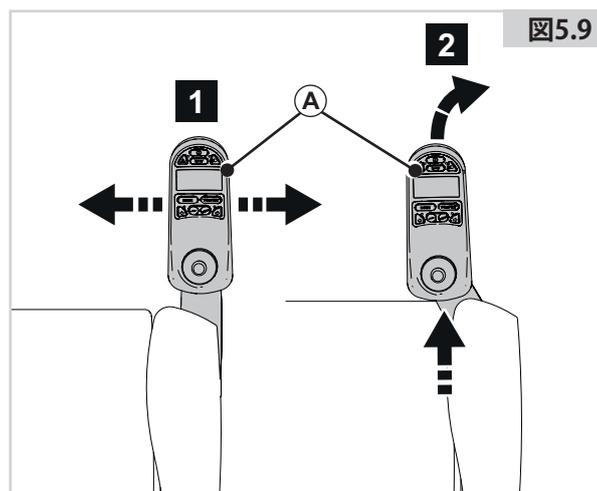
ジョイスティックは、前方2通りの位置にロックできるような仕組みでマウントされています。(図5.9)

コントローラブラケットを外側に振る (図5.10)

1. (A)を外側または内側に押します。
2. 前方に戻すには、カチッと合まるまでジョイスティックの背面を前方に押します。

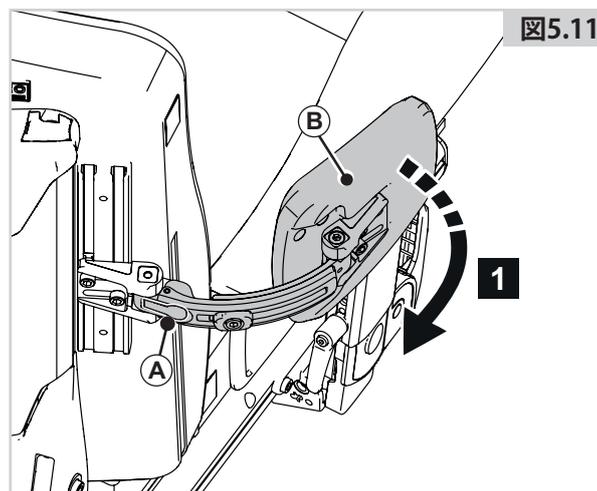
⚠️ メモ / 注意!

コントローラブラケットを元に戻すと、テーブルに近づくことができます。コントローラの機能はすべて使用できます。



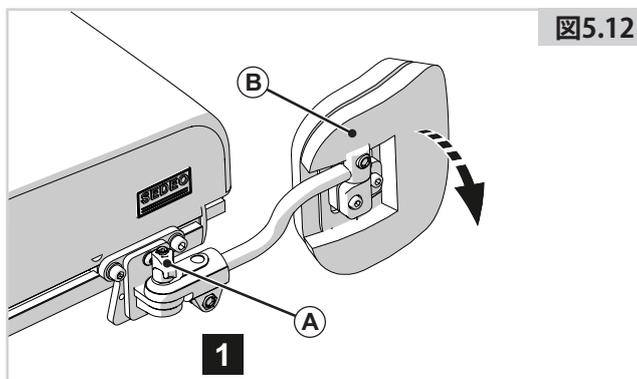
5.6 ラテラル (図5.11)

1. Aを押すとBを動かします



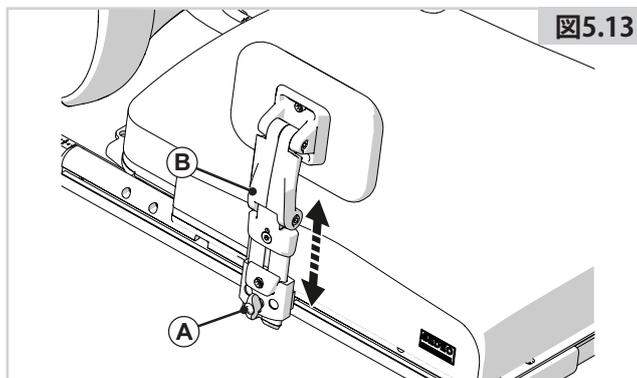
5.7 膝サポート(図5.12)

1. Aを緩めるとBを動かせます



5.8 太腿サポート(図5.13)

1. 1度回して(A)を緩めます。
2. (B)を取り外します。

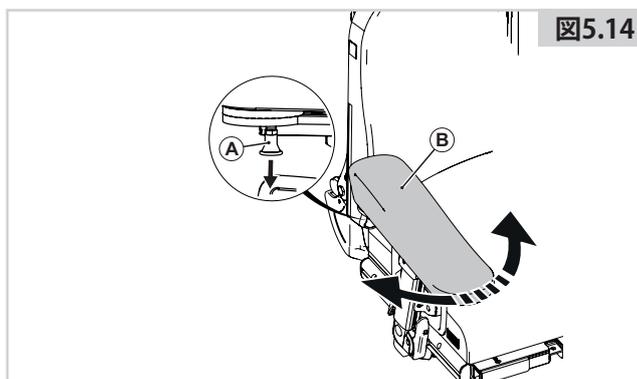


5.9 片麻痺アームレスト(図5.14)

1. ロック位置から(A)を引き出し、(B)を好みの位置までひねります。

⚠️メモ/注意!

(B)が正しく固定されていることを確認してください。



5.10 手押しハンドルの高さ(図5.15)

1. (A)を1度回して緩めます。
2. (B)を好みの位置にスライドします。
3. (A)を締めます。

⚠️危険!/警告!

手押しハンドルを使って(たとえば歩道に上がるなどのために)車椅子を後方に傾けることはしないでください。手押しバーはこのような用途には向いていません。

5.11 ポンメル(図5.16)

ポンメルを引き倒す

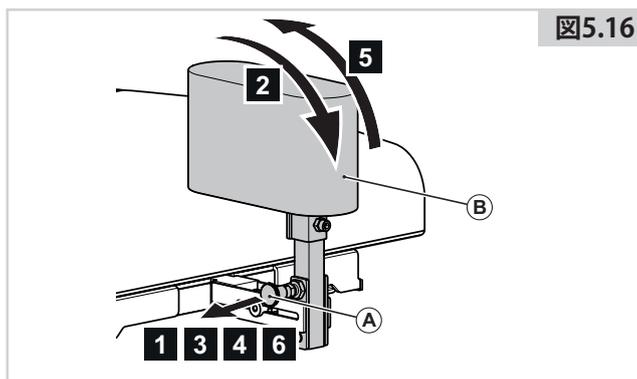
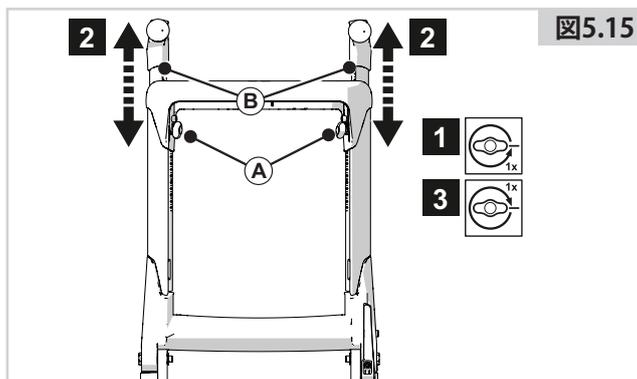
1. (A)をロック位置から引き抜きます。
2. (B)を引き倒します。
3. (A)を離します。

ポンメルを引き上げる

1. (A)をロック位置から引き抜きます。
2. (B)を引き上げます。
3. (A)を離してロック位置に戻します。

⚠️メモ/注意!

(B)が正しく固定されていることを確認してください。



6.0 手動および電動シートオプション

6.1 手動シートオプション

手動でのバックレストライニング(使用者による)(図6.1)

1. (A)を強く握ります。
2. 前または後ろに体を傾けることで(B)を好みの位置に調整します。

⚠️ メモ / 注意

(A)を強く握り続けます。

3. (A)を離します。

手動昇降レッグレストの膝角度(図6.2)

レッグレスト角度は別々に調整できます。

1. ハンドル(A)を前方に押します。
2. 足を上げます。
3. 希望する位置でハンドルを離します。

図6.1

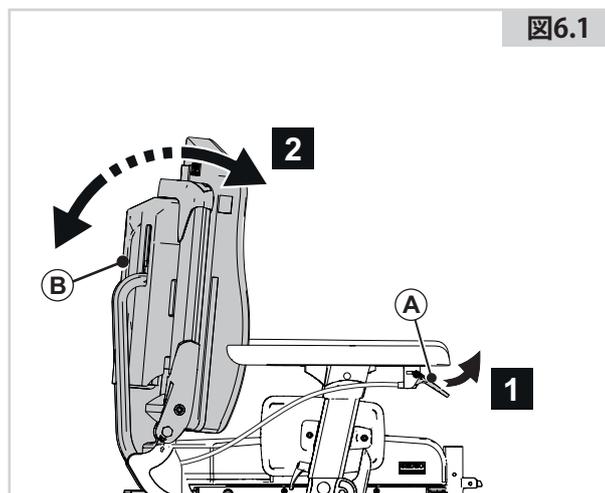
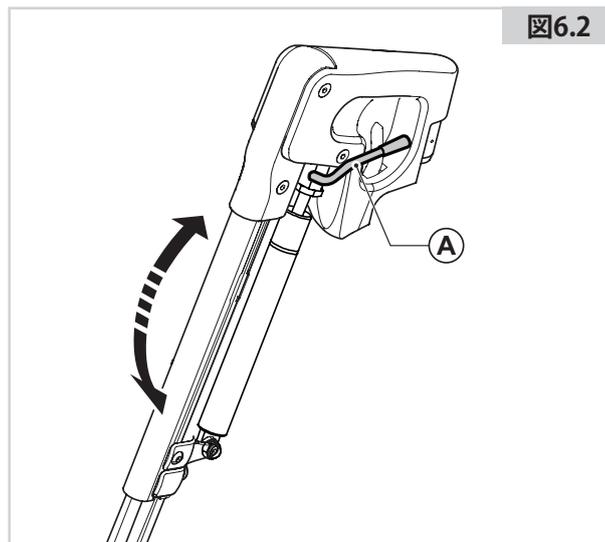


図6.2



6.2 (電動)シーティングオプション

この車椅子には、使用者の着座姿勢を調整するために次の電動オプションを装備できます。これらのオプションは、使用者が工具を使わずに操作できます。

電動で調節可能なシーティングオプション (図6.3-6.5)

電動シーティングオプションの操作方法は、☐「シーティング」を参照してください。

1. 電動ティルト機能
2. 電動シート昇降
3. 電動バックレストリクライニング
4. 電動レッグレスト昇降

⚠ 危険! / 警告!

- 電動で調節可能なシーティングオプションを使用すると、車椅子の安定性に影響を及ぼすことがあります。
- 電動で調節可能なシーティングオプションは、車椅子が平らな場所にあるときのみ使用してください。傾斜地では電動シーティングオプションを使用しないでください。
- コンポーネントが動いているときには、電動アクチュエーターの周囲になにもないことを確認してください。Sunriseの電動メカニズムは広範囲に動きます。コンポーネントが動いているときには、使用者は必ず周囲に注意を払ってください。
- このシーティングシステムをリクライニングしたり上昇させたりティルトした状態で運転する際には、十分に注意してください。
- このシーティングシステムを動かしているときには、電動シーティングオプションを使用しないでください。
- 子供の近くで電動シーティングオプションの上下動やティルトの操作をしないでください。
- プログラミングを使用すると電動シーティング機能の動作方向を逆向きにすることができます。このため、操作する前にシートがどちらの方向に動くかを把握しておく必要があります。
- 上下動やティルトのモジュールには物が挟まる恐れがあります。事故防止のため、操作時には上下動やティルトのモジュール周辺に衣類や手足などの四肢がないことを確認してください。
- シーティングを上昇させた状態でスロープや傾斜路を走行しないでください。傾斜路を上り下りする前に、車椅子のシートを標準の運転ポジションに戻し、バックレストを垂直にしてください。

この電動システムは、特定の電動シーティングレベルに達すると自動的に最大運転速度を超低速モードに減速するよう設計されています。車椅子の設定によっては、複数の超低速が存在します。

図6.3

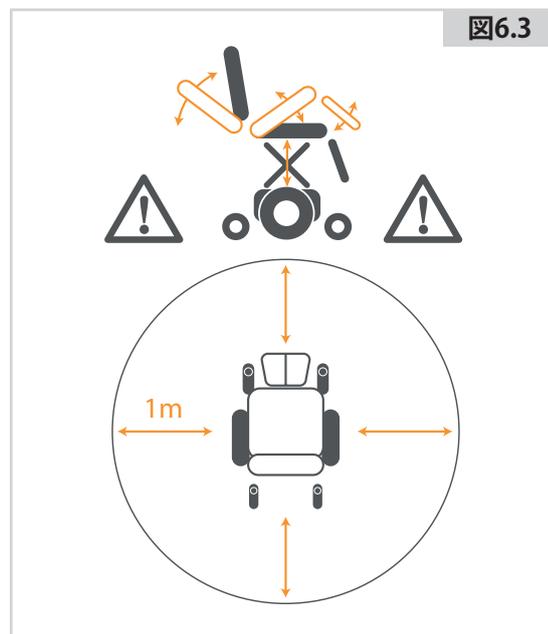
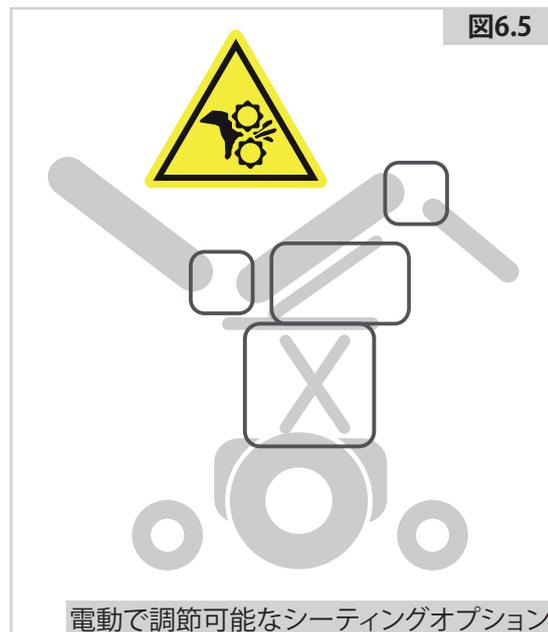


図6.4



電動で調節可能なシーティングオプション

図6.5



電動で調節可能なシーティングオプション

7.0 輸送時のシーティングシステムの小型化

⚠ 危険! / 警告!

人を乗せない状態で車椅子を輸送する際には、コンパクトにすることができます。簡単に取り外せるシーティングシステムのコンポーネントをすべて取り外します。コンポーネントで怪我をしたり物を壊したり、あるいはコンポーネントが破損したりしないように、外したものを安全な場所にしまします。

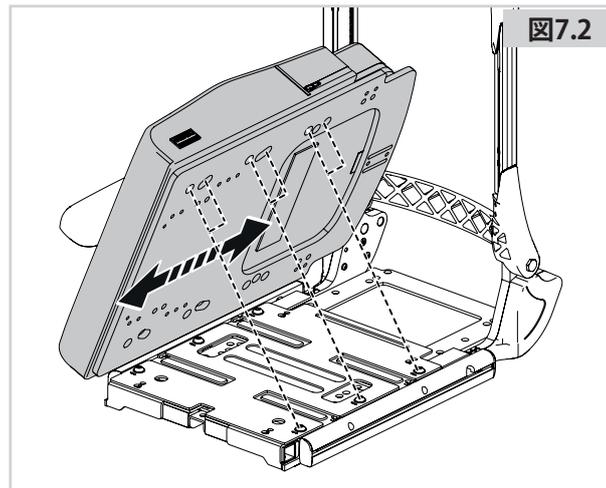
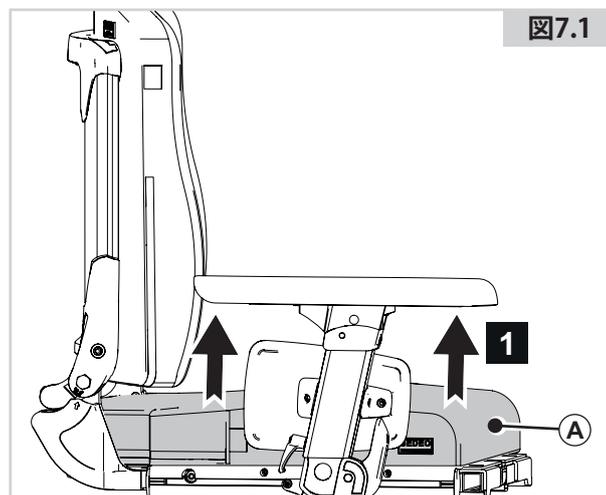
7.1 シートクッション

シートを外す(図7.1)

1. (A) を上に引きます。

シートを戻す(図7.2)

1. ボルトの上に穴を合わせて(A)の位置を調整します。



7.2 バッククッションを外す(図7.3)

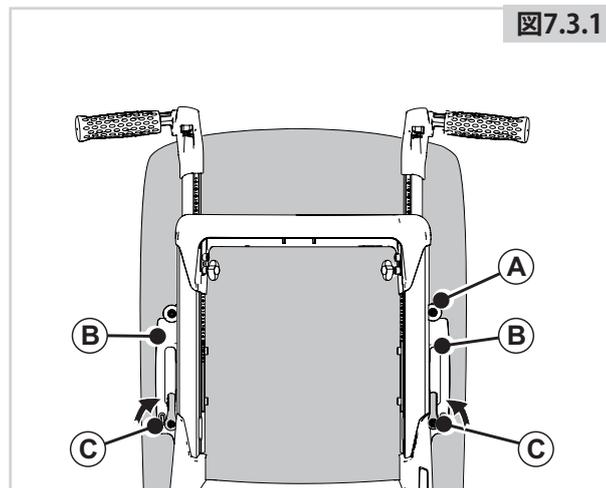
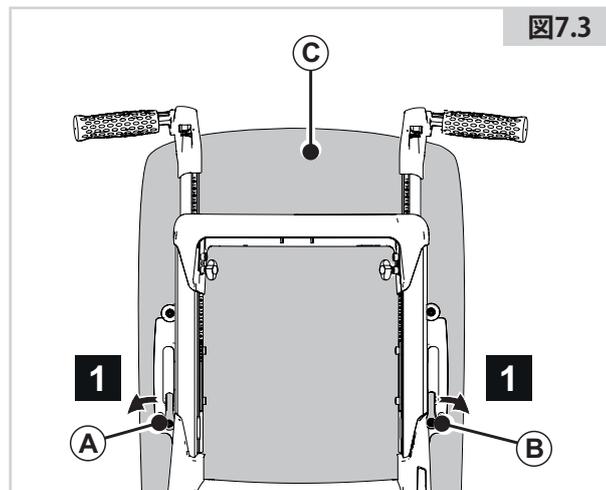
1. (A) と (B) を回します。
2. (C) を下部から前方や上方に引いて、取り外します。

バッククッションを戻す(図7.3.1)

1. (B) の後ろに (A) をひっかけます。
2. (C) を回します。

⚠ 注意!

背もたれのクッションがしっかりはまっていることを確認してください(ハンドルは上向き)。



7.3 バックレストのクイックリリースを引き倒す (図7.4)

バックレストを前方に完全に畳む

1. (A)を緩めます。
2. (B)を前方に完全に畳みます。

⚠️メモ / 注意!

必要に応じて、最初にバッククッションやアームレスト部分を取り外します。

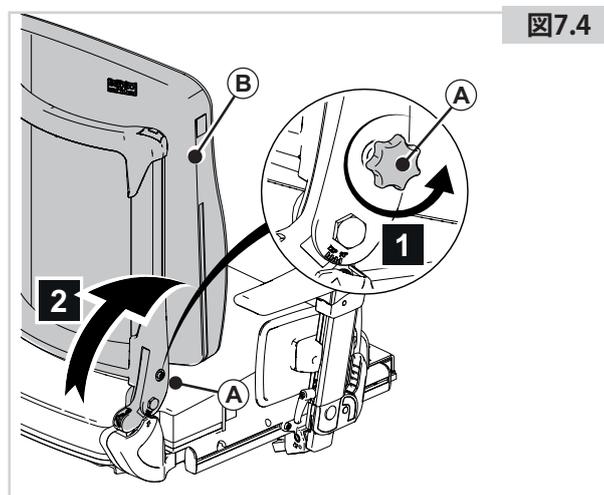


図7.4

7.4 リクライニングアームレスト付きのバックレストを折りたたむ (図7.5)

バックレストを前方に完全に畳む

1. (A)を取り外します。
2. (B)を後ろに畳みます。
3. (C)を緩めます。
4. (C)を前方に完全に畳みます。

⚠️メモ / 注意!

必要に応じて、最初にバッククッションを取り外します。

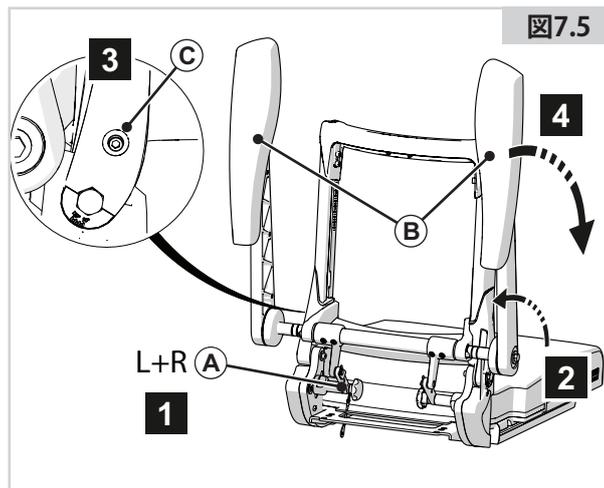


図7.5

7.5 リクライニングアームレスト付きのリクライニングバックレストを折りたたむ (図7.6)

バックレストを前方に完全に畳む

1. (A)を取り外します。
2. (B)を後ろに畳みます。
3. (C)を前方に完全に畳みます。

⚠️メモ / 注意!

必要に応じて、最初にバッククッションを取り外します。

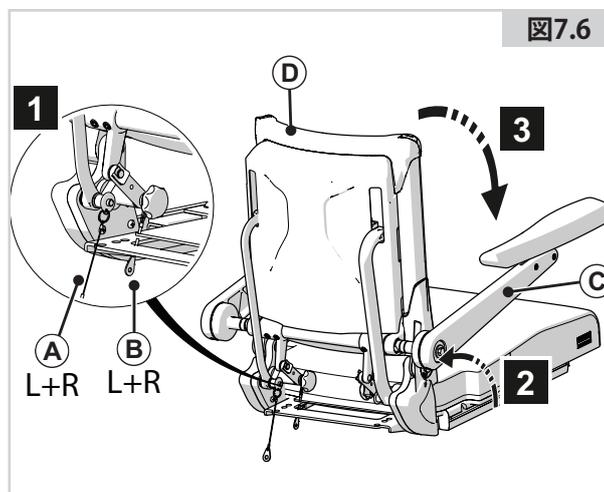


図7.6

7.6 スイングアウェイ・レッグレスト(図7.7)

スイングアウェイ・レッグレストを外す

1. ふくらはぎバンドを緩めます。
2. キャッチ (A) を後方に押し、レッグレストのロックを解除します。
3. レッグレストを外側に動かします。
4. レッグレスト (B) を持ち上げてブラケットから外します。

レッグレストを戻す際には「カチッ」と音がします。これは、レッグレストが正しい位置にロックされたことを示しています。

指挟みに注意(図7.8)



△ 警告!

手動昇降式のスイングアウェイ・レッグレストを取り外す際には、取り外し/持ち運び用のハンドル (A) を掴んでレッグレストを扱ってください。

Bを掴んでいるときにレバーCを解除すると、指を挟む恐れがあります。

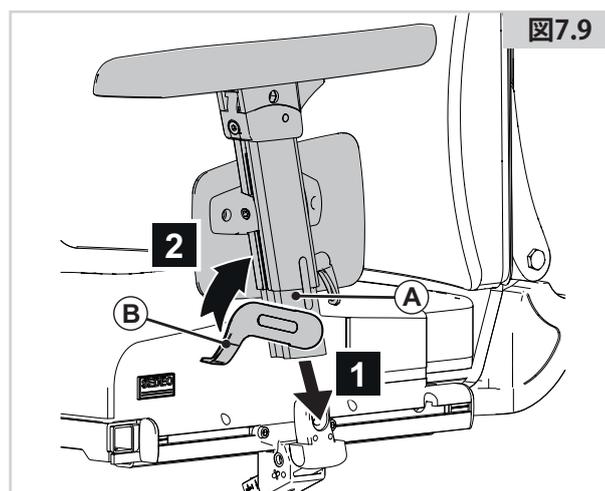
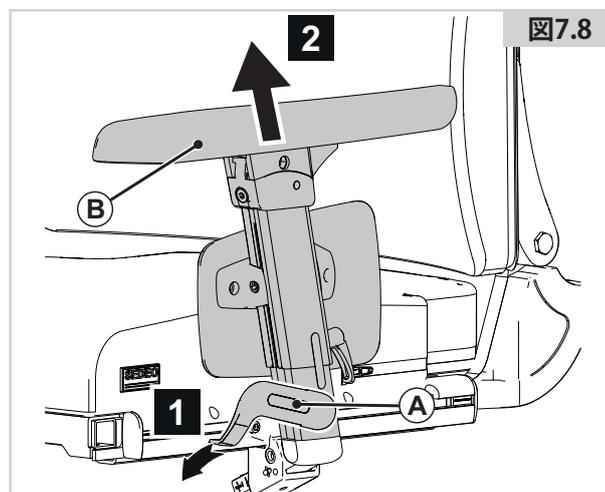
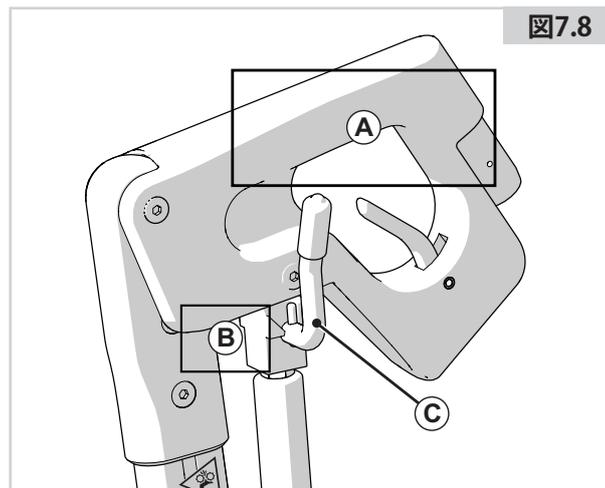
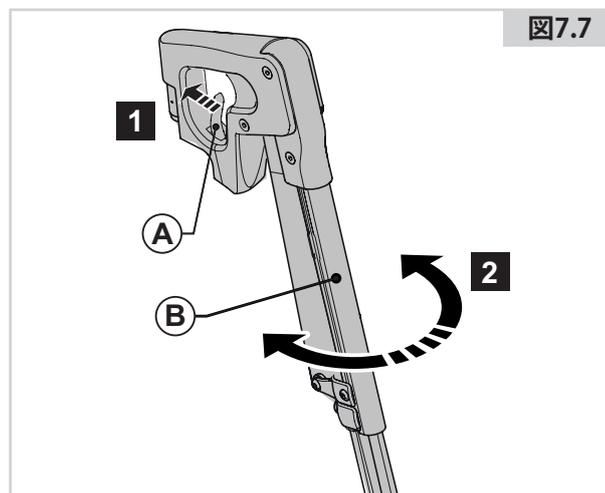
7.7 着脱可能な単一支柱式アームレスト

アームレスト部分を外す(図7.9)

1. (A) を下方に傾けます。
2. (B) を取り外します。

アームレスト部分を戻す(図7.10)

1. (A) を (B) の中に差し込みます。
2. (C) を上方に押しします。



8.0 メンテナンスと清掃

8.1 通常のメンテナンス

- ボルトのゆるみやコンポーネントの破損など、留め具に傷みがないことを、月に一度すべて確認してください。
- 緩んでいる留め具は、取り付け指示にしたがって締めます。必要なトルクは下記の表を参照してください。

締め具マトリクス	トルク設定 (Nm)
M6 ボルト/スタッド	9 - 10

メモ: トルクレンチを使用することが必要です。

- ストラップにほつれや縫い目の破損、その他大きな摩耗や破損の兆候がないことを、月に一度すべて確認してください。破損が見つかった場合は、使用を中止してください。
- 胸部のストラップは、破損や大きな摩耗の兆候が見られたらただちに交換してください。
- 破損したり緩んだりしているコンポーネントがあった場合はただちに使用を中止し、Sunrise Medicalの販売代理店に連絡して交換してください。
- ベルクロ留めストラップは、圧着した時にきちんと密着していることをすべて確認してください。
- 綿埃や毛髪など、ベルクロ留めストラップの汚れはきれいに取り除きます。このような汚れがあると、密着しません。

8.2 シーティングシステムの清掃

車椅子は週に一度、濡らしてよく絞った布で拭き、アクチュエータ周辺の埃やごみは吹き飛ばすか拭き取ってください。

⚠️ メモ / 注意!

清掃時に濡れたり湿ったりした場合や、水分や湿り気のある場所で使用したときには、車椅子の部品をすべて乾かしてください。

⚠️ 危険! / 警告!

車椅子を複数の人が使用する場合、交差感染を引き起こさないようにしっかりと清掃することが大切です。

8.2.2 シーティングの清掃と検査

⚠️ 危険! / 警告!

クッションの破れ、へこみ、摩耗、へたりは、これらが金属部品付近に見られる場合は特に、姿勢の維持や快適さ、圧力の分散に悪影響を及ぼします。

シーティングの清掃手順:

クッションカバー内に洗濯ラベルがついているものは、カバーを洗えます。洗濯ラベルの表示に従ってください。洗濯前にスポンジの詰め物を取り出し、マジックテープを閉じます。

⚠️ 警告!

シンナー、ベンジン、揮発油などの有機溶剤を使用しないでください。

クッションを化学洗浄しないでください。クッションは、アイロンをかけたり遠心脱水したりしないでください。

取り外せないクッションは、汚れが蓄積したりしみついたりしないように定期的に清掃してください。洗剤で濡らした布で拭きます。販売元の指示通りに希釈した消毒薬を使用しても構いません。表面をきれいな水でしっかりすすぎ、よく乾かしてください。

8.3 再利用時の衛生基準:

車椅子を再利用する場合には、注意深く準備します。使用者が触れる表面は、必ず消毒スプレーをかけてください。

これにはかならず、医療用品や医療機器に使用するアルコールベースの即効性消毒薬を使ってください。

使用する消毒薬のメーカーの指示に注意を払ってください。

⚠️ メモ / 注意!

- 溶剤、漂白剤、研磨剤、合成洗剤、ワックス、エアゾール剤を使用しないでください。
- 販売元の指示通りに希釈した消毒薬は使用できません。
- 表面をきれいな水ですすぎ、よく乾かしてください。

8.4 通常の清掃手順:

⚠️ メモ / 注意!

- シートについての汚れはすぐに除去してください。
- 長期間使用したあとは、シートのカバーを標準的な市販のドライフォーム洗剤で清掃します。
- 部分的な手入れではなく、表面全体を常にきれいにし、汚れた部分がないようにします。汚れは、長く放置するほど落とすのが難しくなります。
- 水溶液を使ってごしごしこすらないでください。カバーの生地が傷みます。
- 汚れのシミ（ビール、血液、コーラ、赤ワインなど）を落とすには、ドライフォーム洗剤か中性洗剤を使用してください。
- カバーの取り扱いについては、それぞれの使用上の注意を守ってください。
- ドライフォーム洗剤での洗浄後は、48時間以上乾燥させてください。
- 油性の汚れ（ボールペン、口紅、ガムなど）には、専用のしみ抜き剤を使用してください。表面のシミの部分をしみ抜きをつけた清潔な布で注意深くこすります。
- しみ抜きはごく少量を使うようにしてください。
- 事前に、目立たない場所でテストしてみてください。
- クッションの素材をしみ抜き剤に漬け込まないでください。素材を傷める恐れがあります。
- シートプレートの矢印やシート幅調整用の目盛りといった、シルク印刷の目盛りを強くこすらないでください。
- ホースや高圧洗浄機で車椅子を洗わないでください。

⚠️ 危険! / 警告!

- 業務用や家庭用の洗剤のラベルは必ず読んでください。
- 指示には注意深く従ってください。

8.5 清掃用アクセサリ:

- スイングアウエイトレイなどの部品やアクセサリはすべて、湿らせた布で清掃してください。
- ラテラルサポート、ヘッドレスト、アームレスト、サイドガード、ふくらはぎパッド、膝ベルト、膝パッドはすべて、湿らせた布で清掃してください。

8.6 コントロール装置の清掃:

車椅子のコントロール装置が汚れたら、希釈した消毒剤を含ませて湿らせた布できれいになるまで拭き取ってください。

⚠️ 危険! / 警告!

- 車椅子を複数の人が使用する場合、交差感染を引き起こさないようにすることが大切です。
- 基盤、ジョイスティック(すべての種類)、ヘッドアレイ、スイッチ(すべての種類)は弱めの消毒剤と雑巾で清掃し、交差感染を防止します。息操作のマウスピースとチューブは、清潔さと機能を守るため、定期的に車椅子から外して洗浄してください。
- 清掃前に、コントロール機器のスイッチを必ず切ってください。

8.7 保管

車椅子のクッションやその他の部品を良好に保つため、できるだけ室温に近い乾燥した場所に保管してください。

⚠️ 危険! / 警告!

- 直射日光が当たる場所や、湿度の高い場所、屋外には決して車椅子を保管しないでください。
- 直射日光はクッションやプラスチック部分を退色させ、金属部分が熱くなることがあります。

9.0 技術仕様書:

9.1 適用基準/規格

CE この製品は医療機器に対する規制やガイドラインに準拠しており、CEマークを取得しています。

この製品は、以下の要求事項や基準を満たしています。これらについては、独立行政法人によるチェックを受けています。

Euガイドライン 2017/745 EEC	表1に示す通りに適用
EN 12182 (2012) Class B	EN 12184 (2014) に記載された EN12182 (2014) の要求事項。 障害者用福祉機器 – 一般的要求事項と試験方法。
EN 12184 (2014) Class B	電動車いす、電動三輪車と充電器 – 一般的要求事項と試験方法。
ISO 7176-8:2014	静的、衝撃及び疲労強度の要求事項及び試験方法。
ISO 7176-9	電動車いすの耐候性試験。
ISO 7176-14	電動車いすの駆動及び制御システム-要求事項及び試験方法。
ISO 7176-16:2012	布張り部分の耐熱性-要求事項及び試験方法。
ISO 7176-19 (2008)	車いす – 第19部: モータービークルの中で使用するための車輪付きモビリティ装置: SedeoプロはISO 7176-19に記載されている破壊試験の要件に適合しています
Dahlドッキング	
ISO 7176-19 (2008)	車いす – 第19部: モータービークルの中で使用するための車輪付きモビリティ装置: SedeoプロはISO 7176-19に記載されている破壊試験の要件に適合しています
EN-ISO10993-5:2009	医療機器の生物学的安全性評価。
EN 1021 1&2	布張り家具の燃焼性の評価。着火源: 燃焼しているたばこ/マッチの炎相当。

9.2 技術仕様書： SEDEO Proシーティングシステム

	メートル法値	
	最小	最大
シート角度調節		
COG調節付き電動ティルト オプション	0° - 30°	
COG調節付き電動ティルト オプション	-5° - 25°	
COG調節付き電動ティルト オプション	0° - 50°	
COG調節付き電動ティルト オプション	-5° - 45°	
有効なシート奥行	400 mm	580 mm
有効なシート幅	380 mm	560 mm
シートから床面までの高さ フィルターモジュール(電動ティルトインスペースなし、シート昇降なし)		
位置1 60または80 Ah/バッテリー シート角度0°	415 mm	
位置2 60または80 Ah/バッテリー シート角度0°	440 mm	
位置3 60または80 Ah/バッテリー シート角度0°	465 mm	
位置4 60または80 Ah/バッテリー シート角度0°	490 mm	
電動ティルトおよびシート昇降 (300 mm)		
位置1 60または80 Ah/バッテリー シート角度0°	415 mm	715 mm
位置2 60または80 Ah/バッテリー シート角度0°	440 mm	740 mm
位置3 60または80 Ah/バッテリー シート角度0°	465 mm	765 mm
位置4 60または80 Ah/バッテリー シート角度0°	490 mm	790 mm
バックレストの角度		
ツールによる角度調節バックレスト	90° - 120°	
電動リクライニング	90° - 130°	
抗せん断電動リクライニング	90° - 150°	
バックレストの高さ(シートプレートからバックレストクッション上面まで)	530 mm	720 mm
跳ね上げアームレスト/着脱可能な単一支柱式アームレスト		
アームレストパッドの高さ(シートプレートからアームパッド上面)	260 mm	380 mm
アームレストの幅(シートフレーム)	-20 mm	+20 mm
アームレストパッドの幅(アームレスト外形)	-20 mm	
アームレストの奥行(短シートレール付きシートフレーム)	250 mm	
アームレストパッドの奥行(アームレスト外形)	100 mm	
アームレストパッドの角度(縦方向)	0° - 15°	
リクライニング跳ね上げアームレスト		
アームレストパッドの高さ(シートプレートからアームパッド上面)	250 mm	400 mm
アームレストパッドの幅(アームレスト外形)	-20 mm	
アームレストパッドの奥行(アームレスト外形)	140 mm	
アームレストパッドの角度(縦方向)	0° - 15°	
センターマウント・レッグレスト		
下腿の長さ(シートプレートから)	305 mm	460 mm
膝角度	70° - 120°	
足首角度	+20° - -40°	
電動センターマウント・レッグレスト		
下腿の長さ(シートプレートから)	360 mm	540 mm
膝角度	90° - 180°	
最大長さ補正	260 mm	
足首角度	+35° - -15°	

	メートル法値	
	最小	最大
スイングアウェイレッグレスト		
下腿の長さ(シートプレートから)	350 mm	510 mm
膝角度	70°	
足首角度	0° - 180°	
スイングアウェイ・レッグレスト、手動昇降/電動昇降		
下腿の長さ(シートプレートから)	350 mm	510 mm
膝角度	0° - 70°	
足首角度	0° - 180°	
SEDEOマルチポジションヘッドレストマウント		
ヘッドレストの高さ調整範囲	170 mm	
ヘッドレストの奥行調整範囲	200 mm	
ヘッドレストの角度(縦方向)	-45° - +45°	
ヘッドレストの幅	-20 mm	20 mm
ラテラルサポート		
ラテラルサポートの幅調節範囲	90 mm	
ラテラルサポートの高さ調節範囲	170 mm	
ラテラルサポートの奥行調節範囲	45 mm	
ボンメル		
ボンメルの高さ(シートプレートからクッション上面まで)	170 mm	250mm
ボンメルの奥行調節範囲	65 mm	
手押しバーの高さ調整範囲	140 mm	

10.0 担保責任/保証

この保証は、いかなる形でもお客様の法的権利に影響を与えないものではありません。

Sunrise Medical*はお客様に対し、保証条件で定めるとおり次の範囲で車椅子の保証を行います。

保証条件:

1. 製造または材質の欠陥によって車椅子の部品にお客様への納品から24か月以内に、またフレームや筋交いについては5年以内に、修理交換が必要となった場合、当該部品を無償で修理交換いたします。本保証では、製造上の欠陥のみを対象とします。
2. 保証を受けるには、問題の性質についてSunrise Medicalの販売代理店に詳細に連絡してください。
3. 本保証の範囲内で修理交換が行われた部品については、1) に定めるとおり、車椅子の残りの保証期間中この保証条件に従って保証します。
4. お客様が費用を支払って取り付けした純正スペア部品については、(取り付けから)12か月間、この保証条件に従って保証します。
5. 車椅子または部品の修理交換が次の理由で行われる場合、保証を求めることはできません:
 - a. バッテリー、アームレストパッド、クッション、タイヤ、ブレーキシューなどの通常の消耗。
 - b. 製品への過積載(使用者の体重の上限についてはECラベルを確認してください)。
 - c. 使用やサービスの指示に記載されているメーカーの推奨事項に従って製品や部品のメンテナンスやサービスを行わなかった場合。
 - d. 純正アクセサリとして指定されていないアクセサリを使用した場合。
 - e. お手入れ不足、事故、不適切な使用により損傷した車椅子や部品。
 - f. メーカーの仕様から逸脱する改変を車椅子や部品に行った場合。
 - g. 販売代理店に状況を通知する前に行った修理。

6. この保証には、Sunrise Medicalから製品を購入した国の法律が適用されます。

* 製品を購入したSunrise Medicalの施設を指します。

Sunrise Medical S.r.l.
Via Riva, 20 – Montale
29122 Piacenza
Italia
Tel.:+39 0523 573111
Fax:+39 0523 570060
www.SunriseMedical.it

Sunrise Medical AG
Erlenauweg 17
CH-3110 Münsingen
Schweiz/Suisse/Svizzera
Fon +41 (0)31 958 3838
Fax +41 (0)31 958 3848
www.SunriseMedical.ch

Sunrise Medical AS
Delitoppen 3
1540 Vestby
Norge
Telefon:+47 66 96 38 00
post@sunrisemedical.no
www.SunriseMedical.no

Sunrise Medical AB
Neogatan 5
431 53 Mölndal
Sweden
Tel.:+46 (0)31 748 37 00
post@sunrisemedical.se
www.SunriseMedical.se

MEDICCO s.r.o.
H – Park, Heršpická 1013/11d,
625 00 Brno
Czech Republic
Tel.:(+420) 547 250 955
Fax:(+420) 547 250 956
www.medicco.cz
info@medicco.cz
Bezplatná linka 800 900 809

Sunrise Medical Aps
Mårkærvej 5-9
2630 Taastrup
Denmark
+45 70 22 43 49
info@sunrisemedical.dk
Sunrisemedical.dk

Sunrise Medical Australia
11 Daniel Street
Wetherill Park NSW 2164
Australia
Ph:+61 2 9678 6600
Email: enquiries@sunrisemedical.com.au
www.SunriseMedical.com.au

Sunrise Medical
North American Headquarters
2842 Business Park Avenue
Fresno, CA, 93727, USA
(800) 333-4000
(800) 300-7502
www.SunriseMedical.com



Sunrise Medical GmbH
Kahlbachring 2-4
69254 Malsch/Heidelberg
Deutschland
Tel.:+49 (0) 7253/980-0
Fax:+49 (0) 7253/980-222
www.SunriseMedical.de

Sunrise Medical
Thorns Road
Brierley Hill
West Midlands
DY5 2LD
England
Phone:0845 605 66 88
Fax:0845 605 66 89
www.SunriseMedical.co.uk

Sunrise Medical S.L.
Polígono Bakiola, 41
48498 Arrankudiaga – Vizcaya
España
Tel.:+34 (0) 902142434
Fax:+34 (0) 946481575
www.SunriseMedical.es

Sunrise Medical Poland
Sp. z o.o.
ul.Elektronowa 6,
94-103 Łódź
Polska
Telefon:+ 48 42 275 83 38
Fax:+ 48 42 209 35 23
E-mail: pl@sunrisemedical.de
www.Sunrise-Medical.pl

Sunrise Medical B.V.
Groningehaven 18-20
3433 PE NIEUWEGEIN
The Netherlands
T:+31 (0)30 – 60 82 100
F:+31 (0)30 – 60 55 880
E: info@sunrisemedical.nl
www.SunriseMedical.nl

Sunrise Medical HCM B.V.
Vossenbeemd 104
5705 CL Helmond
The Netherlands
T:+31 (0)492 593 888
E: customerservice@sunrisemedical.nl
www.SunriseMedical.nl
www.SunriseMedical.eu
(International)

Sunrise Medical S.A.S
ZAC de la Vrillonnerie
17 Rue Mickaël Faraday
37170 Chambray-Lès-Tours
Tel :+ 33 (0) 247554400
Fax :+30 (0) 247554403
www.sunrisemedical.fr

